北中連だより

2014年
新　春　号
No. 119

「残闕（ざんけつ）」1999年　　北九州市立美術館蔵

一般社団法人　北九州中小企業団体連合会
http://www.hokuchu.or.jp/

日本の明日へ
中小企業とともに。

話せるパートナー
商工中金です。

安心・確実に増やしたい、個人のお客さまへ。

新型定期預金
マイハーベスト

- 有利な金利設定※
- 固定金利の半年複利
- 1年、2年、3年から期間が選べる

※当金庫内の商品と比較した場合

北九州支店

〒802-0003北九州市小倉北区米町 2-1-2
TEL 093-533-9567

人を思う。未来を思う。
商工中金

北中連だより

2014 New Year　No.119

Contents

目次

掲載ページ

年頭のご挨拶

1 (一社)北中連会長　自見 榮祐

2 北九州市長　北橋 健治

3～6 北九州市長へ「要望書」を提出

7～9 福岡県知事へ「要望書」を提出

10 北中連理事会・正副会長会

11 福岡県地域経済懇談会

12 北中連からのお願い

13～19 先進企業視察（静岡県）
福機連北九州支部

・株式会社 小糸製作所静岡工場

・株式会社 焼津冷凍

20～23 先進商店街視察（愛知県）
北九州市商業総連合会

・株式会社 まちづくり岡崎

・桜山商店街振興組合

掲載ページ

24 年末卓話会・交流会
福機連北九州支部

25 組合訪問記
魚町サンロード商店街協同組合

26 組合訪問記
東小倉工業団地協同組合

27 北九州オンリーワン企業の挑戦

30 第65回中小企業団体全国大会

31 雇用政策課からのお知らせ

32 男女共同参画推進課からのお知らせ

34 北中連日誌

35 北中連　役員名簿

36 会員名簿

39 協賛広告

46 賛助会員加入のご案内

表紙絵画家
プロフィール

33 表紙
「残闕」

年頭のご挨拶

（一社）北九州中小企業団体連合会
会長　自　見　榮　祐

今年の正月は暦としては比較的ゆったりで、また好天にも恵まれました。お健やかに新年をお迎えのことと思います。

６日から始まった賀詞交換会はどの会場も近来になく明るい雰囲気で景気の回復を実感できるものでした。商工会議所の会場では私もＮＨＫさんから今年のキーワードは？と問われ､「復権」という文字を書き、カッコで小さく（中小企業の）という言葉を添えました。意味するところは？には、「中小企業は国の宝、という言葉は昔からありますが、一向に宝物扱いされた記憶がない。中小企業が生き延びるためには付加価値の高い仕事をして、オンリーワン企業を目指せ、というようなことばかり評論家や役所から言われますが私どもはちゃんと付加価値は付けているの、モノに働きかけて違う性質のものに変える、ということは建物を建てても料理を作っても、あるいは床屋さんの仕事にしろ、みんな付加価値を生んでいるんですが、それに対する正当な対価、お代、を頂けてないだけですよ。

安いだけが正義であるかのような世の中の価値観が間違っているのであって、赤字を押し付けても平然としている社会の風潮を糺して、勤労者の８割を占める中小企業で働く人々がまじめに仕事をすれば安心して生活ができる世の中に戻しましょう！」と言ったのですが、ニュース番組では、人手が足りなくなったので、価格は回復の方向に向かうでしょう、という件だけでした。

私どもの鉄鋼加工関連業界では、例えばビル建設に使う、鉄骨用の鋼材の需要量がピーク時には年間１千万トン近くでしたがリーマンショックの後は３百万トン台まで落ち込み、昨年度は漸く５百万トン台に、回復してきました。

これほど赤字しか出ないのに、よく皆な廃業もせずに頑張るねと言ったものですが20年からのデフレ経済の下で、高齢者が引退した後に、新たな人材が全く入ってきていない、少子高齢化問題より先に、汗水流して働いても全然割の合わない仕事ということで、産業間の人口配置がいびつなゆがみを持ってしまったと思います。

日々営々とまじめに仕事をする人が称えられて、どうして悪いの？ということ。

明治維新や太平洋戦争の後の急速な復活も優れたリーダーが居たからというよりも日本人個々の資質の高さがあったればこそと思います。そんな日本人がこれから育っていくには中小企業の復権なくして不可能ではないでしょうか？

胸を張って、背筋を伸ばして明るい笑顔で歩き始めましょう！

今年もよろしくお願いします！

年頭のご挨拶

北九州市長
北　橋　健　治

新年あけましておめでとうございます。

昨年は市制50周年を迎え、様々な記念事業を行うなど、市民の皆様と盛大に祝うことができました。

また、OECD（経済協力開発機構）から、「環境」と「経済」が両立するグリーン成長都市としてアジアで初めて選定された本市の取組みが、OECDの「北九州レポート」によって国内外に発表されるという、画期的な出来事もありました。

今年は、次の50年に向けて、人や企業の集まる元気なまちづくりを進めてまいります。

まず、高付加価値ものづくりクラスターの形成や海外ビジネス拠点の形成など「北九州市新成長戦略」を着実に推進し、地域経済の活性化と新たな雇用や市民所得の向上につなげます。

次に、高齢者や障害者などを含めた全ての市民が、安全・安心でいつまでも元気で自分らしく暮らせるよう、「（仮称）北九州市安全・安心条例」の制定や防災体制の整備、健康モデル都市・北九州を目指した市民の自律的・主体的な健康づくり活動への支援、認知症対策の推進、2015年度からの次期高齢者支援計画の策定などに取り組みます。

さらに、青少年の非行を生まない地域づくりなど次世代を担う子どもや若者の健やかな成長を目指した諸事業を推進するとともに、まちづくりを支える人材の育成を進めてまいります。

また、2016年度中の完成を目指した新球技場の整備などスポーツ、芸術・文化の振興を通じて、にぎわいを創出していきます。

ユネスコ（国連教育科学文化機関）世界文化遺産への推薦が決まった旧官営八幡製鐵所関連施設については、2015年の登録を目指し、取組みを進めてまいります。

これらの施策を着実に実現していくため、近々とりまとめる行財政改革大綱の方向性に沿って、一層の行財政改革を進めます。

さて、２月９日には、本市初のフルマラソン大会「北九州マラソン」が開催されます。

市制50周年記念事業のフィナーレを飾る大会として、市民が一体となって成功へ導き、新たな時代に向けた第一歩を踏み出しましょう。

北九州市長へ「要望書」を提出

平成25年11月25日（月）、自見会長を始め池田、大坪、柿原、安心院、松本の各副会長が出席し、自見会長から北橋市長へ「平成26年度北九州市に対する中小企業対策に関する要望書」を手渡しました。

この要望書は、北中連の各部会、委員会において提案された要望、意見を集約し、正副会長会及び理事会で検討を加えて承認されたものです。

当日は、北橋市長を始め西田産業経済局長、徳永地域産業振興部長、吉武中小企業振興課長の出席の下、プレミアム商品券助成の充実、建設関連業種の支援、展示会出展助成の充実、安価な電力の安定供給、北九州空港の活用等について幅広く意見交換が行われました。

なお、要望事項は９分野31項目で内容は次のとおりです。

平成26年度　北九州市に対する
中小企業対策に関する要望

［景気対策］

1　国内景気は、アベノミクス効果とオリンピックの東京開催決定も追い風となり、全般的には前向きの期待感が高まっているが、産業別や中央対地方、といった観点からは、さらなる格差が生じる懸念も多く、とりわけ地方の中小企業にとっては先行き不透明で厳しい状況が予想されている。

ついては、北九州市においても、予算編成や税制改正について、中小企業に十分配慮していただくと同時に、国に対して、早急かつ的確な景気対策と税制改革を実行すべく、積極的に働きかけていただきたい。

［地域振興対策］

2　北九州地区の経済は、中小製造業では受注の減少や原材料の高騰、建設関連業では底なしの過当競争、地域商店街では購買意欲の低下や高齢化などに加え大型店の出店で、依然として非常に厳しい状

況に置かれている。

今後もこのような状況で推移するものと思われるので、より一層の金融、受注、雇用、地域振興等の支援策の充実と併せて市独自の中小企業対策予算の大幅な増額を図っていただきたい。

3　『北九州「海の幸」「山の幸」を愛する会』と「地産地消サポーター制度」とを融合し組織された「海の幸・山の幸を愛する地産地消サポーター」の広報に努め、安全・安心な農林水産物供給と地域振興を推進していただきたい。

また、自然に恵まれた地域の特性を活かした農林水産物や食品などの「地域ブランド品」の積極的な掘おこしとPRに引続き取り組んでいただきたい。

4　下関地域を含めた関門地域は魅力的な景観に加え歴史的にも価値ある観光資源であり、「関門海峡観光推進協議会」において更なる観光資源の掘おこしや新旅行商品の創造等、観光客の誘致促進は継続して実施していただきたい。

また、市内の観光資源を掘おこし、点在する観光資源の広報に努めるとともに、これらを結び高齢者のボランティアガイドを活用した「定期観光バス」等の復活を研究するなど観光客の受入体制の充実に努めていただきたい。

5　災害時における生活、生命維持の熱源はLPガスが最も安全、迅速に対応できることは、東日本大震災で経験したところであり、市においても、災害時に備え避難所となる学校等の公共施設及び市の出先機関等にLPガス設備・機器、LPG車、災害対応バルク等を設置していただきたい。

［工業振興対策］

6　北九州市の知名度向上とともに、技術力や製品力を有する市内の中小企業が域外に販路開拓を図る上で、関東、関西地区で開催される全国規模の展示会等への共同出展は、有効な手段であることから、共同出展事業や出展助成は充実して実施していただきたい。

7　わが国のものづくりの中小企業は、ものづくり産業の国際競争力の強化に貢献するとともに、優れた技術・技能は、日本の産業を支えるとともに新製品・新技術開発や新たな産業を創出する基盤ともなっている。市内のものづくり中小企業の技術技能、ノウハウが衰退することなく継承が円滑に図られるよう効果的な支援策を実施していただきたい。

8　「下請取引の適正化」について、その趣旨が元請業者の発注担当者にまで周知・徹底していない。「下請けかけこみ寺」の相談窓口を設置するなどしているが、さらに効果的な方策を講じていただきたい。

9　原発の再稼働停止により、国全体で平成25年度は3.8兆円に及ぶ石油や石炭、天然ガスなどの無駄な買い物を余儀なくされている。中小企業で働く人の年収は380万円前後と思われるが、実に100万人分の年間給与に相当する。良質で廉価な電力供給は中小企業にとってもグローバル経済下で生き延びていくうえで正に命の綱である。先送りできない問題なので、国や電力事業者に対して一日も早い事態の収拾を働きかけていただきたい。

［商業振興対策］

10　地域の祭りや買物弱者の支援、各種のイベント開催など地域活性化の中心となる商店街は、昨今の経済状況を受け、非

常に厳しい状況の下にあるので、「空き店舗賃借料補助事業」や「コミュニティ支援事業」の補助期間の延長をしていただきたい。

11　先の北九州市議会にて可決承認された「北九州市商店街の活性化に関する条例」の効果的な運用を図るため、積極的な広報と周知の徹底をしていただきたい。

12　多くの商店街では、経営者の高齢化や後継者不足により商店街の活動が停滞してきており、魅力ある商店街づくりや商店街活性化のため、若手経営者や後継者の指導育成及び支援を充実して実施していただきたい。

13　県や市の補助を受け商店街等が実施しているプレミアム付商品券発行事業は地域住民に好評で、沈滞する商店街の活性化に大いに貢献している。しかし、商品券の販売総額が500万円未満の場合は市の制度を活用することになるので、この事業の補助対象経費にプレミアム分も含めるなど、県並みに充実して実施していただきたい。

14　商店街内に長期間放置されている空き店舗は街づくりや商店街活動の支障になるばかりでなく犯罪や火災等が懸念される。街づくりや防犯・防火の観点から、所有者に対する早急な改善や指導する方策を、有識者や関係者で検討する組織を設置していただきたい。

15　市内の商業施設は過剰気味でこれ以上の大型店の出店は地域商店街の空洞化に拍車をかけるので、大型店（床面積1万㎡超）が出店できないように用途地域を見直していただきたい。

16　商店街等が地域の活性化のために実施するイベントなどで使用する道路の規制を緩和するとともに手続きの簡素化を図っていただきたい。

［受注対策］

現在の公共工事の入札制度は、価格のみが優先され、多くの現場従事者は、施工方法、資材、原材料等を含めて工事の品質に大いに不安を抱いている。公共工事には、地元の雇用を確保し、地域経済を循環させるとともに、従業員の土木・建設技術を向上させ、地域の発展・振興を図る目的があると思われる。

これらの不安を解消するとともに、中小建設業及び関連業者が夢と希望を持って働けるような公共工事にするため、先に閣議決定された「中小企業に関する国等の契約の方針」を遵守し、以下の施策を実施していただきたい。

17　「中小企業に関する国等の契約の方針」に則り、官公需適格組合を始めとする事業協同組合等の受注機会の増大を図り、窓口の契約担当者に周知徹底させること。

18　道路や公共施設の防災・減災や改修等の公共工事予算を増額すること。

19　最低制限価格を設計価格の90％までに引き上げること。

20　設計価格の積算基礎となる単価は実情に合わせて行うこと。

21　地元の中小建設業の育成という面を考慮して、入札の一部に競争入札参加要件である指名実績を緩和した入札を設けること。

22　市による建設関連業種に対する「中小建設業新分野進出支援助成金」「建設業戦略的経営支援事業」「各種セミナー」などの支援策は、引き続き充実して実施すること。

［金融税制対策］

23 「セーフティネット保証５号」の第３四半期（10/ １～12/31）の対象業種が指定されたが、一般土木建築工事業、塗装工事業、一般電気工事業など地域に密着した中小企業が多い業種が除かれている。地域の中小企業は依然として厳しい経営環境の下に置かれており、同業種においても企業間格差があるので、対象業種の指定については、これらの業種指定を含めて、拡大するように積極的に国に働きかけていただきたい。

24 景気の低迷で遊休事務所、事業所等が多く、中小企業においては事業所税が大きな負担となっているので、税率の軽減及び免税点の拡大を国に積極的に働きかけていただきたい。

25 現在、時限的に実施されている法人税における中小企業の軽減税率を更に引き下げるとともにこれを恒久化するように国に積極的に働きかけていただきたい。

26 法人税の中小企業における交際費の定額控除限度額（800万円）を引上げるとともに全額を交際費として経費計上できるように国に積極的に働きかけていただきたい。

［労働対策］

27 市内の雇用情勢は、有効求人倍率の緩やかな回復は見られるが低い水準にあり、希望職種と求人職種のミスマッチも依然として発生しており、特に若年層を中心に厳しい状況が続いている。市において若年者の就業拡大を目的に実施している若者ワークプラザ北九州運営事業や若年者求人開拓事業は、若年者の就業支援とミスマッチの解消及び中小企業の人材確保にも大いに貢献しているので、引続き充実して実施していただきたい。

28 長引く景気低迷の影響で中小企業の人材不足は若干解消されつつあるが、依然として中小企業の人材確保は厳しい状況に置かれている。職場体験学習や地元企業の見学会等を積極的に行い新卒や若年者が地元の中小企業に就職したくなるような施策を実施し、中小企業の人材確保に努めていただきたい。

また、中小企業に対する人材育成支援は継続して実施していただきたい。

［環境対策］

29 「環境未来都市」や「グリーンアジア国際戦略総合特区」の指定を受け、環境にやさしい街を目指して、公共施設等へ次世代照明器具や太陽光発電設備の設置、企業や一般家庭に対して省エネ設備の設置費用の一部補助などを行っているが、スマートメーターなどの各戸配布など、さらに充実してその動機付けと普及を図っていただきたい。

30 中小企業の経営改善に貢献しているEA-21認証取得に関して行なっている種々の施策については、引続き積極的な広報と特段の優遇策を講じていただきたい。

［北中連関係］

31 本連合会は、昭和29年の設立以来、北九州地域の中小企業支援と地域振興に積極的に取り組んできた。景気が低迷する経済環境の中、今後も北九州市が取り組む各種中小企業施策に、市と連携しながら積極的に協力していく所存であるので、引き続き本連合会に対し委託事業の発注など特段の配慮をお願いしたい。

福岡県知事へ「要望書」を提出

平成25年11月21日（木）、自見会長を始め池田、大坪、柿原、安心院の各副会長が出席し、福岡県商工部長室において、自見会長から今村商工部長へ知事あての「平成26年度福岡県に対する中小企業対策に関する要望書」を手渡しました。

この要望書は、北中連の各部会、委員会において提案された要望、意見を集約し、正副会長会、理事会において検討を加え承認されたものです。

当日は、今村商工部長を始め、鷺山中小企業経営金融課長、栗原企画監、松延企画主幹、石尾主任主事の出席の下、高度化融資のスピード化及び保証人要件の緩和、地元発注に関する窓口担当者までの徹底、プレミアム商品券補助の継続、後継者育成、大型店の出店抑制などについて幅広く意見交換が行われました。

なお、要望事項は９分野22項目で内容は次のとおりです。

平成26年度　福岡県に対する
中小企業対策に関する要望

［景気対策］

1　国内景気は、アベノミクス効果とオリンピックの東京開催決定も追い風となり、全般的には前向きの期待感が高まっているが、産業別や中央対地方、といった観点からは、さらなる格差が生じる懸念も多く、とりわけ地方の中小企業にとっては先行き不透明で厳しい状況が予想されている。

福岡県においても、予算編成や税制改正について、中小企業に十分配慮していただくと同時に、国に対して、早急かつ的確な景気対策と税制改革を実行すべく、積極的に働きかけていただきたい。

［地域振興対策］

2　北九州地区の経済は、中小製造業では受注の減少や原材料の高騰、建設関連業では底なしの過当競争、地域商店街では購買意欲の低下や高齢化などに加え大型店の出店で、依然として非常に厳しい状況に置かれている。

今後もこのような状況で推移するものと思われるので、より一層の金融、受注、雇用、地域振興等の支援策の充実と併せて県独自の中小企業対策予算の大幅な増額を図っていただきたい。

3　災害時における生活、生命維持の熱源

はLPガスが最も安全、迅速に対応できることは、東日本大震災で経験したところであり、県においても、災害時に備え避難所となる学校等の公共施設及び県の出先機関等にLPガス設備・機器、LPG車、災害対応バルク等を設置していただきたい。

［工業振興対策］

4　わが国のものづくりの中小企業は、ものづくり産業の国際競争力の強化に貢献するとともに、優れた技術・技能は、日本の産業を支えるとともに新製品・新技術開発や新たな産業を創出する基盤ともなっている。県内のものづくり中小企業の技術技能、ノウハウが衰退することなく継承が円滑に図られるよう効果的な支援策を実施していただきたい。

5　「下請取引の適正化」について、その趣旨が元請業者の発注担当者にまで周知・徹底していない。「下請けかけこみ寺」の相談窓口を設置するなどしているが、さらに効果的な方策を講じていただきたい。

6　原発の再稼働停止により、国全体で平成25年度は3.8兆円に及ぶ石油や石炭、天然ガスなどの無駄な買い物を余儀なくされている。中小企業で働く人の年収は380万円前後と思われるが、実に100万人分の年間給与に相当する。良質で廉価な電力供給は中小企業にとってもグローバル経済下で生き延びていくうえで正に命の綱である。先送りできない問題なので、国や電力事業者に対して一日も早い事態の収拾を働きかけていただきたい。

［商業振興対策］

7　多くの商店街では、経営者の高齢化や後継者不足により商店街の活動が停滞してきており、魅力ある商店街づくりや商店街活性化のため、若手経営者や後継者の指導育成及び支援を充実して実施していただきたい。

8　厳しい経済情勢の下、県の補助を受け商店街等が実施しているプレミアム付商品券発行事業は、アンケート調査によれば、消費者の63％、事業主の73％が継続実施を望むなど、地域住民に好評で、沈滞する商店街の活性化に大いに貢献しているので、この事業を充実し引続き実施していただきたい。

［受注対策］

現在の公共工事の入札制度は、価格のみが優先され、多くの現場従事者は、施工方法、資材、原材料等を含めて工事の品質に大いに不安を抱いている。公共工事には、地元の雇用を確保し、地域経済を循環させるとともに、従業員の土木・建設技術を向上させ、地域の発展・振興を図る目的がある。

これらの不安を解消するとともに、中小建設業及び関連業者が夢と希望を持って働けるような公共工事にするため、先に閣議決定された「中小企業に関する国等の契約の方針」を遵守し、以下の施策を実施していただきたい。

9　「中小企業に関する国等の契約の方針」に則り、官公需適格組合を始めとする事業協同組合等の受注機会の増大を図り、窓口の契約担当者に周知徹底させること。

10　道路や公共施設の防災・減災や改修等の公共工事予算を増額すること。

11　最低制限価格を引き上げること。

12　設計価格の積算基礎となる単価は実情に合わせて行うこと。

13　地元の中小建設業の育成という面を考慮して、入札の一部に競争入札参加要件である指名実績を緩和した入札を設けること。

［金融税制対策］

14　長引く不況の下、中小企業における設備投資等の資金調達は大変厳しい状況にあり、県が行なっている高度化事業は貴重な資金の調達先となっている。加えて経済環境の変化は早く一刻も早い対応が求められる。従って、申請から実行までの期間の短縮や手続きの簡素化など利便性の向上を図るとともに、過去の制度上の欠陥を修正し、国と共に本制度のブラッシュアップを進めていただきたい。

15「セーフティネット保証５号」の第３四半期（10/1～12/31）の対象業種が指定されたが、一般土木建築工事業、塗装工事業、一般電気工事業など地域に密着した中小企業が多い業種が除かれている。地域の中小企業は依然として厳しい経営環境の下に置かれており、同業種においても企業間格差があるので、対象業種の指定については、これらの業種指定を含めて、拡大するように積極的に国に働きかけていただきたい。

16　景気の低迷で遊休事務所、事業所等が多く、中小企業においては事業所税が大きな負担となっているので、税率の軽減及び免税点の拡大を国に積極的に働きかけていただきたい。

17　現在、時限的に実施されている法人税における中小企業の軽減税率を更に引き下げるとともにこれを恒久化するように国に積極的に働きかけていただきたい。

18　法人税の中小企業における交際費は全額を交際費として経費計上できるように国に積極的に働きかけていただきたい。

［労働対策］

19　長引く景気低迷の影響で中小企業の人材不足は若干解消されつつあるが、依然として中小企業の人材確保は厳しい状況に置かれている。職場体験学習や地元企業の見学会等を積極的に行い新卒や若年者が地元の中小企業に就職したくなるような施策を実施し、中小企業の人材確保の支援に努めていただきたい。

［環境対策］

20　原発の再稼働が厳しい中、エネルギーを安定的に確保するためには、エネルギーの効率的な利用が重要な課題の一つであり、県においても公共施設等へ次世代照明器具や太陽光発電設備の設置などを行っているが、さらに充実してその動機付けと普及を図っていただきたい。

21　中小企業の経営改善に貢献しているEA-21認証取得に関して行なっている種々の施策については、引続き積極的な広報と特段の優遇策を講じていただきたい。

［北中連関係］

22　本連合会は、昭和29年の設立以来、北九州地域の中小企業支援と地域振興に積極的に取り組んできた。景気が低迷する経済環境の中、今後も福岡県が取り組む各種中小企業施策に、県及び市と連携しながら積極的に協力していく所存であるので、引き続き本連合会に対し委託事業の発注など特段の配慮をお願いしたい。

北中連理事会・正副会長会

第３回理事会

９月27日（金）14時30分から北九州市立商工貿易会館６階会議室において、理事13名・監事２名の出席のもと、平成25年度第３回理事会が開催された。

自見会長が挨拶の後、議長となり議事に入った。

事業報告（各種経過報告）、議事録署名人（自見会長、杉岡、山岡監事）の選任を行った後、第２号議案　平成25年度下半期行事計画、第３号議案　部会・委員会の開催報告、第４号議案　平成26年度中小企業対策の県、市に対する要望のとりまとめ、第５号議案　定款の一部変更（会員の取扱）を審議し、全て承認された。

続いて、北九州市からの委託事業である「若年者求人開拓事業」の現状説明、大津市で開催される第65回中小企業団体全国大会への参加について説明があり理事会を閉会した。

第４回理事会

12月12日（木）17時から稚加榮小倉店において、理事12名、監事２名の出席のもと第４回理事会が開催された。

自見会長が挨拶の後、議長となり議事に入った。

議事録署名人（自見会長、杉岡、山岡監事）の選任を行い、続いて、各種経過報告、福岡県及び北九州市に対する平成26年度中小企業対策の要望・陳情活動の報告、地域経済懇談会・懇親会の報告、定款及び役員選任規程の一部変更、新春講演・交流会の開催等について、説明及び討議を行い、全て承認された。

なお、理事会終了後、北中連顧問の北橋市長、同じく春日商工中金北九州支店長など多くの来賓が出席の下、交流会を行い、和やかな雰囲気の中で情報交換と交流を深め徳永市地域産業振興部長の中締めで閉会した。

第２回正副会長会

９月27日（金）13時30分から北九州市立商工貿易会館６階会議室において、自見会長、池田、大坪、柿原、安心院、松本各副会長の出席のもと正副会長会が開催され、自見会長が議長となり審議に入った。

理事会提出議案を審議の後、その他の事項として、①地域経済懇談会への出席と発表者、②大津市で開催される第65回中小企業団体全国大会への出席要請、④県、市に対する要望陳情への出席などについて、説明及び討議を行った。

福岡県地域経済懇談会

平成25年11月26日（火）ホテルニュータガワにて、25年度福岡県地域経済懇談会が、県商工部、県中央会、商工会連合会北九州支部、北九州商工会議所、北中連などから35名の出席の下で開催された。

懇談会は、古澤北九州中小企業振興事務所長の開会の挨拶に続いて、今村県商工部長が「円安による原材料、資材、燃料費等の高騰で厳しい経済状況は認識している。商工会議所、商工会、中央会等の中小企業支援機関と協力し、農商工連携事業、インターネット販売の推進や商店街活性化のプレミアム商品券発行事業の助成などを継続して実施していきたい。」などの挨拶がなされた後、懇談会に入った。

県の産業政策の概要について、家中商工政策課企画広報監から詳細な説明がなされた後「中小企業の中でも特に零細企業への支援をお願いしたい。」との意見が出された。

各団体等の取り組みについては、北中連の野瀬事務局長からミスマッチの少ない若者の就業支援事業である「若年者求人開拓事業」について発表がなされた。

意見・要望及び意見交換では、北中連の柿原副会長から「プレミアム付き商品券発行事業の継続と支援の充実について」、同じく松本副会長から「中小企業の人材確保の支援及び人材育成について」意見・要望がなされた。

続いて、県商工会連合会北九州支部会長会の原田幹事から「プレミアム付き商品券発行に伴う支援策の継続について」と同じく内田副会長から「経営革新承認企業に対する制度融資条件緩和及び直接補助支援の新設について」同じく古野監事から「地盤低下する商工会地域での起業支援について」意見・要望がなされた。

さらに、北九州商工会議所の里村中小企業部長」から「消費税増税に向けた中小零細・小規模事業者施策及び支援補助の拡充について」同じく能美中小企業振興課長から「事業承継支援施策の充実～知的資産経営報告書 評価認証制度の創出～について」同じく岡田小倉サービスセンター担当部長から「中心市街地活性化への支援について」意見・要望がなされた。

その後、各担当課長などから総括的な回答が述べられ、引き続き意見交換となり「製品等に対する正当な対価・評価の必要性」「若者の仕事に対する考え方の教育不足」「五感を使ったものづくり体験の必要性」など活発な情報交換が行われ、今村商工部長のまとめの言葉で懇談会を終了した。

懇談会終了後、同ホテルにて北中連主催による懇親会が開催され、自見北中連会長の挨拶、今村県商工部長の挨拶と続き、内田商工会連合会北九州支部会長会副会長の乾杯の音頭で始まり、和やかな中に活発な情報交換がなされた。

最後に、永田北九州商工会議所事務局長の中締めの発声で、懇親会は盛会のうちに終了した。

懇親会風景

北中連からのお願い

若年者向けの求人は、「若者ワークプラザ北九州」へ

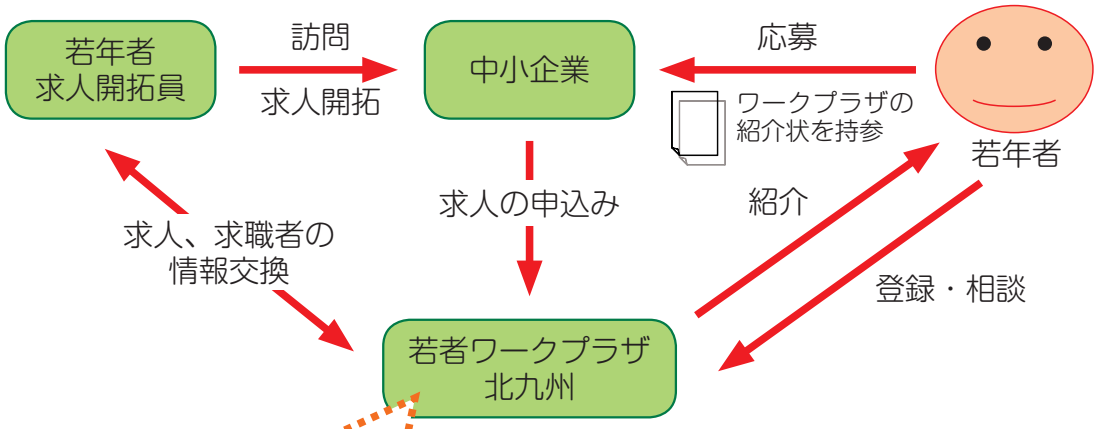
北九州市からの受託事業「若年者求人開拓事業」へのご協力をお願いします。

北中連では、北九州市からの委託事業として「若年者求人開拓事業」を行っています。求人開拓員（北中連の職員）が市内の企業を訪問して若年者向けの求人を開拓するものです。

この求人情報を北九州市が運営する若年者向けの就業支援施設「若者ワークプラザ北九州」で活用し、ミスマッチの少ない職業紹介を実施することで、若年者の就業と企業の皆様の人材確保に寄与しています。

求人開拓員が皆様の組合や企業を訪問します。趣旨をご理解いただき、求人の申込みに是非ご協力ください。（無料で利用できます。）

若年者求人開拓事業の流れ



『若者ワークプラザ北九州』

若年者（概ね40歳まで）に対し、就業相談、各種情報提供、講座やセミナー、職業紹介等を実施して就業を支援する施設です。求職者へのカウンセリングにより、ミスマッチの少ない職業紹介を実施しています。

平成24年度は、延べ15,000人の利用があり、様々な資格や職務経験を持つ若年者が登録しています。

＜お問合せ先＞
（一社）北九州中小企業団体連合会　　TEL：093-531-0127　担当：野瀬

先進企業視察（静岡県）

福機連北九州支部

福岡県機械金属工業連合会（福機連）北九州支部は、福機連本部及び北中連工業部会の支援を受け、技術開発、作業改善、生産管理など企業経営の参考に資するため、先進企業視察を行なっています。生産現場を見学し、経営者や技術者などと直接意見交換をすることで、具体的により深く知識を習得できると、参加者から好評を得ています。

今年度は、10月28日・29日に日本銀行静岡支店長の服部　守親（前北九州支店長）様の紹介で、静岡市内の「株式会社小糸製作所静岡工場」及び「株式会社焼津冷凍」を視察しましたので、その概略を報告します。

◆株式会社 小糸製作所静岡工場

《概　要》

代　表　者	代表取締役社長　大嶽　昌宏
本社所在地	東京都港区高輪４丁目８番３号
連　絡　先	TEL 03-3443-7111 FAX 03-3447-1520
静 岡 工 場	静岡市清水区北脇500番地 TEL 054-345-2251
創　　業	1915年（大正４年）４月１日
設　　立	1936年（昭和11年）４月１日
資　本　金	142億70百万円
従　業　員	連結17,153名、単独4,176名
事 業 内 容	光源事業、航空機器事業など
主要納入先	トヨタ自動車㈱、 日産自動車㈱、 本田技研工業㈱ほか

《沿　革》

1915年４月	小糸源六郎商店創業（東京・京橋）鉄道信号灯用フレネルレンズの販売開始
1936年４月	株式会社小糸製作所を設立
1943年４月	静岡工場開設
1970年３月	東京・港区に本社屋開設
1972年７月	静岡県に航空電装・電子工場開設
1977年８月	静岡県に榛原工場開設
1978年７月	ハロゲンヘッドランプ生産・販売開始
1979年６月	異形ヘッドランプ生産・販売開始
1982年４月	自動車用ハロゲン電球生産・販売開始
1985年４月	社是「着想と断行」制定

1986年９月　静岡県に吉川工場開設
　　12月　静岡県に相良工場開設
1992年５月　静岡県に富士川工機工場開設
1996年７月　ディスチャージヘッドランプ生産・販売開始
1997年３月　静岡工場に技術センター開設
2000年７月　ISO14001認証取得
2001年１月　QS-9000/ISO9001認証取得
2003年４月　ディスチャージバルブ生産・販売開始
2004年７月　世界初水銀フリーディスチャージヘッドランプ生産・販売
2005年11月　佐賀県に小糸九州㈱設立
2006年５月　ISO/TS16949 認証取得
2006年７月　オールグラス・シールドビームヘッドランプ生産終了（生産累計４億３千万個）
　　10月　小糸九州株式会社 工場開設
2007年５月　世界初LEDヘッドランプ生産・販売開始

《はじめに》

1915年創業、日本で初めて鉄道信号灯用フレネルレンズを開発・生産して以来、自動車用照明機器、鉄道車両用照明機器、航空・船舶用など、トランスポートのあらゆる分野において、先進の照明機器を開発、提案し、その着実で、ダイナミックな活動は、常に高い評価と信頼を得ている。

「常にお客様、ユーザーの立場で考え、満足いただける製品・サービスを提供する」という基本姿勢を忘れることなく、最新・最高のテクノロジーの開発と追及、さらなる品質向上に取り組んでおり、グローバル化・ボーダーレス化する国際社会において、企業の社会的責任を経営の基本に地球環境保全、社会貢献をはじめ、さまざまなステークホルダー（利害関係者）との調和を大切にしている。

創業以来培われてきた「着想と断行」の精神のもと、次世代の交通システムの実現、ひいては安全で快適な社会づくりに貢献していきたいと考えている。

また、企業メッセージである「安全を光に託して」のもと、グローバルネットワークを通じ、世界中の顧客にハイクオリティーな製品・サービスを提供し、当社は、小糸製作所を中核として、国内・海外の31社で構成されており、「お客様第一」を基本に世界最高のQCD（Quality, Cost, Delivery）を目指して日々改善に取り組んでいる。

独自の最先端技術をグループ各社に移転、共有し、さまざまな分野への応用を展開しており、それぞれの能力を最大限引き出し、総合した大きな力で21世紀の最先端の光を世界中に届けるため、さらなるグローバルネットワークの強化・充実を推進、世界へ、未来へ挑戦し、次世代の扉を開こうとしている。

《カーランプのトップブランド》
（自動車関連事業）

当社のグローバル展開の主軸となっているのが自動車照明関連事業で、日本をはじめ、世界各国の自動車メーカーに製品を納入している。洗練されたデザイン、優れたクオリティー、高い技術開発力など厳しいニーズに応え、高い評価と実績を得ている。そのひとつが、現在の主力であるディスチャージヘッドランプで、世界トップレベルの性能・品質で、高い

シェアを占めている。さらに、次世代ランプとしてLEDヘッドランプの開発にも取り組み、世界初の実用化に成功している。LEDヘッドランプは、点灯速度が速くドライバーの視認性を向上するとともに、斬新で美しいランプデザインを実現している。そして長寿命・省エネ・省スペースなど地球環境にもやさしいランプとして環境対応車を中心に採用が拡大している。

新型車の研究・開発段階から参画しており、クルマ社会の安全で快適な光を求めて、既成概念にとらわれない大胆な発想で、独創的な光をプレゼンテーションしている。

LEDヘッドランプ

高出力白色LED（発光ダイオード）を採用した最新のヘッドランプ。独自の光学制御システムと最適点灯システムにより、世界トップクラスの明るさと点灯速度を実現している。さらに高耐熱性LEDと冷却構造により、LEDの温度上昇に伴う光量低下や色度変化の性能低下を抑え、長寿命、省電力等の優れた性能を有している。

ディスチャージヘッドランプ

発光源にアーク放電を利用するディスチャージバルブを採用。ハロゲンランプの3倍の明るさと2倍の寿命を持つのが特徴。ハイレベルな技術力を結集した、高性能なヘッドランプである。

《空・海・宇宙まで広がるフィールド》

（航空・船舶関連事業）

活躍するフィールドは自動車だけではなく、航空機や船舶の照明機器及びその周辺機器にも広がっている。

航空機部門においては、米国ボーイング社に、ウインドーヒートコントロールや、ＥＬ（エレクトロルミネッセンス）を光源とした非常誘導灯・緊急照明装置など、当社独自の技術を結集した製品を納入している。さらに小型船舶用船灯など、型式認定や検定合格マークを取得した法定船灯で、大海原でも安全を提供している。

また、国産大型ロケットの燃料系統のフィルターも製作し、さらなる発展を追い求めて、当社のフィールドは、無限の宇宙にまで広がっている。

《快適社会の総合ブランドへ、シフト》

（特殊機器事業）

当社は身近な日々の暮らしへの貢献を使命として、自動車ランプ以外の分野にも取り組んでいる。鉄道やバスなどの公共交通機関でも当社の技術が安全性、利便性の向上に貢献しており、生活をより快適に、豊かにするために当社だからできること、やるべきことを模索し、自動車ランプのトップメーカーとして築き上げてきた高い信頼性と技術を推進力に、快適な社会の実現を目指している。

LED電子方向幕

路線バス用に開発。従来の字幕式方向幕と違い高輝度LEDを使用しているため、昼も夜も遠距離から表示内容を視認することが可能。さらに路線表示の変更なども、パソコン等で簡単に修正することができる。

LEDワーキングランプ
省電力・長寿命の特徴を持つLEDを光源に採用し、消費電力を従来の４分の１まで低減するとともに、メンテナンスフリーを実現している。フォークリフトや重機、緊急車両や船舶など、さまざまなシーンで使用することができる。

マリン用ランプ
モーターボートなど、船舶の分野においても活躍。水上での安全で快適な航行に貢献している。

《飽くなき探求、未来を切り拓く先進の光を求めて研究・開発》

当社のこれまでの歩みを支えてきたもの、そして、これからの未来を切り拓くもの、それは、当社の技術力であり、新しい技術を創造する研究開発とそれを商品化する技術開発を柱に、エレクトロニクスなどの先進技術を駆使し、安全性の向上を追求した創造的なシステムの開発を行っている。

主力製品である自動車ランプについては、日本の技術センターを中核として、世界５極対応の開発体制を確立し、北米、欧州、中国、アジアにおける技術動向の収集から量産のフォローまで、ITをフルに活用した世界最適地開発を行っている。

《テクノロジーの追求から生まれる、人と環境にやさしい光》

当社は「人と地球にやさしいものづくり」を目指し、高品質な先進の光を追求するとともに、未来を見据えた環境保全という大きな課題に取組んでいる。

廃棄物を出さないことを第一に、発生を抑制、生産過程での環境負荷物質の使用禁止や水銀等の環境負荷物質を含まない部品の開発などを積極的に推進している。

製品開発においては、水銀フリーディスチャージヘッドランプに続き、省電力の白色LEDを採用したLEDヘッドランプを世界で初めて実用化するなど、環境に配慮した新技術・新製品の開発を進めている。

2003年１月、全製造工場で環境マネジメントの国際規格である「ISO14001」の認証を取得し、３R活動の推進により、ゼロエミッションを早期に達成、維持するなど、国際社会が求める環境保全活動を積極的に展開している。

小糸製作所玄関ロビーにて

◆株式会社 焼津冷凍

《概　要》

代 表 者　代表取締役社長　松村　　勲
所 在 地　静岡県藤枝市上当間854番地
連 絡 先　TEL（054）641-9631
　　FAX（054）641-8681
　　http//www.yaizureito.co.jp/
設　　立　昭和50年10月１日
資 本 金　2,100万円
従業員数　80名
事業内容　冷凍倉庫業、冷凍魚及び冷凍食品の製造並びに販売及び輸出入など
グループ企業　㈱いちまる、㈱富士屋、いちまるホーミング、松友水産

《沿　革》

昭和38年３月　焼津冷凍水産加工業協同組合として創業
昭和50年10月　株式会社焼津冷凍を資本金1,000万円にて設立
　　協同組合の全業務の委譲を受けて事業を開始
昭和60年６月　藤枝市上当間に収容能力2,200トンの冷蔵庫を増設
　　12月　グリーンテックセンターを新設し、事業を開始
平成13年９月　資本金を2,100万円に増資
平成19年10月　子会社㈱ウィンウィンを焼津市焼津1丁目10番26号設立（ピーターパン小麦市場）
平成22年11月　子会社㈱ウィンウィンにて静岡市駿河区敷地１丁目に２号店出店（ピーターパンするが工房）

《経営理念》

１．我々は、お客様に必要とされ安心と信頼される仕事をします。

お客さまとは、縁あって関わる全ての人のこと。必要とされることは、パートナーとして、時代のニーズに応えることによって無くてはならない存在となること。

安心と信頼される仕事とは、相手の立場に立って、全ての人、物に対して、目配り、気配りをし、常に確認することによって、お客様が期待以上の満足をすること。

２．我々は、何事にも挑戦する勇気を持って日々成長します。

挑戦する勇気とは、失敗を恐れず、今までの考え方や行動を変えること。

お客様と会社にとってよいことであれば、気づいたらすぐやること。

日々成長するとは、常に気持ちを新たに、創意工夫し続けること。

３．我々は、約束を守り、すべての人・物に思いやりを持って行動します。

約束を守るとは、取り決めたことは、責任を持ちやり続けること。

すべての人、物に思いやりをもって行動するとは、誠意と感謝をもって、笑顔、挨拶、サービスを心をこめて大切に対応すること。

４．我々はお客様との信頼の絆を深め、食文化に貢献します。

信頼の絆を深めるとは、常にお客様の声を聴き、お客様が困っていること

を解決し、お客様がいいなーと思う期待以上の成果を導くことによって、お客様の幸せをお手伝いし、共存共栄すること。

食文化に貢献するとは、常に健康で豊かな食生活を提供するために、安全で安心できる環境づくりをすること。

《焼津冷凍の機能》

当社が果たす基本的な役割は、『求められる物、事』を『求めている人』へ提案をベースに一緒に創りあげて行く事だと考え、冷凍、冷蔵の分野で、お客様のニーズに合わせた温度帯の保管に応えている。

当社は、焼津港を中心に冷凍倉庫を生かし地域に密着した事業を展開しており、新たにチルド倉庫を所有することで冷凍、冷蔵の全てに対応が可能になった。

当社の取り組み『挑戦と創造』として、次の５つを掲げている。

①マイナス60度の価値への創造と追及
②BCP（事業継続計画）活動の実施
③全ての温度帯に対応した保管、流通加工
④生産から販売まで一貫した食文化への貢献
⑤社員教育への積極的な取組み

《当社の事業》

１．物流倉庫事業

①広い敷地を利用しバースを10台完備。スーパー等の物流、納品のため、365日営業している。
②チルド（５℃）の倉庫を持ち350坪のスペースを利用してTC型（通過型）、DC型（保管型）への対応を行っている。
③冷凍（－30℃）物流事業として、500坪の冷凍倉庫と100坪の（荷捌所）（５℃）や－30℃帯に移動ラックを装備し、先入れ先出しを可能にし、主に冷凍食品全般、魚介類などを取り扱い、少量多品目の保管及びピッキングにも対応している。

冷凍倉庫

チルド倉庫

２．冷凍事業

冷凍（－60℃）の超低温倉庫で鮪、鰹を保管している。大学との共同研究で商品の品質保持のデータが確認されている。

焼津冷凍第２工場内

－60℃において、お茶、蕎麦、米、生しらす、生桜エビ、肉などを保管している。

【－60℃の理由】

品質変化に関わる５つの要因として、

イ．腐敗、発酵など微生物による作用
ロ．食品中の酵素による分解作用
ハ．酸化などの化学作用
ニ．乾燥など物理作用
ホ．果実、野菜等の呼吸や蒸散など食品の整理活性作用

などがあげられ、商品を低温下で保存する事により上記の要因の変化を遅らせる事が可能となる。

低温にすればするほど、たんぱく質の酵素分解による脂肪の酸化もほぼ止まり、微生物の繁殖もストップし非常に衛生的な保存方法である。

鮪、鰹など回遊魚の赤身魚は冷凍耐性に強くマイナス35℃以下の保存をする事で変色の進行を抑えられ、マイナス60℃以下の超低温で保管すれば赤身をそのまま維持する事が出来る。

３．焼津共同配送センター

地場のスーパーを対象としたTC型センターを平成24年６月１日より稼働させ、３温度帯（ドライ・チルド・冷凍）を兼ね備えたセンターで、TC（通過型）のみならず、DC（保管型）及び、流通加工にも対応が可能である。

荷受場は260坪で、プラットホームがオールフラットになっており、搬入、出庫が同時にできる。保管の他に、解凍にも対応でき、小ロットでも対応が可能である。

台車は客先ごとに色分けし、混在を防止する工夫をし、24時間、365日顧客の期待、要望に対応できる。

台車を客先ごとに色分け

○チルド…５℃～10℃帯
　166坪と240坪の冷蔵庫が二つある
○冷　凍…－30℃帯
　74坪　パレット（1100×1100）240枚
　収容可能
○ドライ…常温　　240坪

４．その他の事業

（１）農業部門（グリーンテック）

10,000坪の敷地に6,000坪のハウスを所有し、豊富な大井川の伏流水を生かした水耕栽培による万能ねぎを栽培し、ハウス栽培のため猛暑にも影響されず年間を通して安定供給できる体制が整っている。(22年実績：年間生産量330トン、売上1.8億円)

生産から販売まで一貫した食文化貢献事業として、生産を担っている。

平成23年12月には、ねぎ加工場を改装し、汚染区、準衛生区、衛生区と区分けされ、エアシャワーなどを設置し、手洗い消毒、服装に至るまで、衛生面に注力しハセップに順応した作業場となっている。

収穫されたネギは、すぐに加工場に運ばれ、温度管理された中でスピーディに加工・包装され、製品はそのまま冷蔵庫へ入れられ、４～５℃の温度で保管し、鮮度維持に気を付けている。

ネギのハウス栽培

（２）グリーンテックセンタートマト事業

平成24年３月にスタートした事業（ハウス面積1160坪、植付け苗3335本）で、溶液土耕の特別栽培で、有機液肥を使い安心、安全でおいしいミニトマトを作っている。

トマトのハウス栽培

（３）ベーカリー事業

㈱ウィンウィンと業務提携し、原料にこだわった焼き立てパンの提供を行っている。

原材料と３たて『焼きたて、揚げたて、作りたて』にこだわり、地域密着型のベーカリー事業を展開している。

先進商店街視察（愛知県）

北九州市商業総連合会

北九州市商業総連合会（市商連）は、各区商店街連合会と北中連商業部会の協力を得て共同販促（年末大売出し）事業や商店街活動の参考に資するため、先進商店街の視察を行なっています。

今年度は、11月11日・12日に「得する街のゼミナール」で街の活性化を図っている「株式会社まちづくり岡崎」と大学などとの連携で街おこしをしている「桜山商店街」を視察しましたので、その概略を報告します。

◆株式会社 まちづくり岡崎

≪概　況≫

所 在 地　〒444-0045
　　愛知県岡崎市康生通東1-21
代 表 者　代表取締役　松井洋一郎
　　堺　　康裕
設　　立　平成25年3月27日
T E L　0564-23-7666
F A X　0564-23-7780
資 本 金　324万円
株 主 数　60社

≪企業理念≫

江戸期に城下町・宿場町として発展した岡崎のまちは、三河の中心として、戦前から中心街を路面電車が走り、戦後は日本でいち早く民間誘致によるデパートの創業など挑戦的な試みを行い、商業のまちとして繁栄しました。

ひとの営みそのものがまち

だから時代に移ろうもの。
さくらが季節を映すように“まち”はその時代を映すもの。
わたしたちはそうありたいと考えます。
わたしたちはこの“まち”に愛着を持っています。それはわたしたちに残してくれたひとがいるから、そして今ここにいるひとが好きだから。
「株式会社まちづくり岡崎」は、そんな“こころ”の通う大切なこの場所を、またその先へと渡せるように、考え、実行するものです。

≪取り組み事業≫

■まちの人材発掘
・このまちをステージに活躍する、まちを盛り上げる人材を発掘し、ともに活動していくことで一緒に成長していく。

■まちのハブステーション
・まちの人と情報が交流する場をつくり、連携を促進し、まちの情報を集め、まちの皆様に伝えていく。

■まちの自主取り組みをサポート
・商店街や任意団体など、活性化に向けて自主的に活動する組織のイベント等の事務局受託やノウハウ提供を行い、円滑な活動が行えるようサポートする。

■まちのシンクタンク機能
・市民のニーズや市街地の土地、建物の利用等に関する調査を行い、今後のまちづくり戦略を考えていく。

・まちの活性化につながる事業を企画運営し、成功モデルの伝播を目指し、全国の先進事例や支援メニューの情報をキャッチし、岡崎に合ったスタイルでの事業提案をしていく。

■まちのエリア価値創造と発信

・中心市街地の魅力を再確認し、新たに創造し、積極的に発信していくことで、内外から「訪れたくなるまち・暮したくなるまち」と呼ばれるようなイメージアップを推進する。

≪平成25年度の事業内容≫

■まちづくり実現力向上力セミナー
（リーダー育成）（岡崎市からの委託事業）

まちなかを活性化させる○○な企画をやりたい！の思いを実現させるために必要なノウハウを学ぶセミナーで、テーマはデザイン、市民参画、若者パワーなど広く設定し、対象も若手商業者から市民まで受講できる。

また、事業の最後に受講生同士のかたらい会も実施。さらにその様子をまとめた小冊子を作成し、発信する。

■あいちトリエンナーレ連携 商店街おもてなし
（岡崎市からの委託事業）

８月10日～10月27日まで開催される「あいちトリエンナーレ」の来場者を、商店街、まちぐるみでおもてなしをし、岡崎のまちと人の魅力を堪能してもらう。

（1）市民が作る！おもてなしマップの作成
（飲食、お土産、物産）

市民調査隊が中心市街地を調査。市民目線、市民の言葉でまちあるきとお店めぐりの楽しみを伝える手作り感のあるマップを制作し、配布する。

（2）おもてなし研修

Taste of Okazakiに向けた接客スキルアップ、岡崎テイスト、まちとアートのつながり方などの探求。

（3）おもてなしイベント「Taste of Okazaki」　Taste＝味わう、趣、風情

トリエンナーレ来場者にできるだけ長い時間まちなかに滞在してもらい楽しんで街を気に入ってもらうための案内パンフレットを作成。イベントやゲーム的要素を加えることにより、まちなかやお店の回遊性を高める。

■子ども城下町
（全国商店街支援センターからの委託事業）

・ドイツ、ミュンヘンやおかざきマーブルタウンを参考として、商店街を舞台とした「こどものまち」を展開。

・岡崎城～康生をつなぐ仕立てとし、こどもたちの手で、一日だけの城下町を作る。「江戸時代の自治・町人文化」を学び直し、発信することで新たな城下町ブランディングを構築する。

■まちなか連携交流会議
（自主事業）：5月、7月、11月、1月

近隣商店街の活動を知らないとの反省から、地域の商店街相互の意思疎通を図るために設置する。

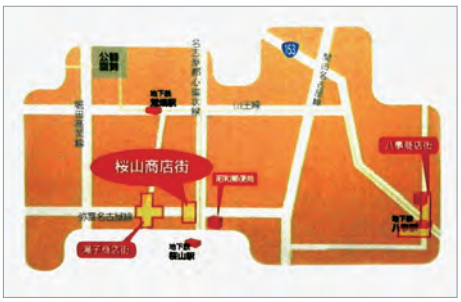
・㈱まちづくり岡崎で動いているプロジェクトの情報を伝える。

・まちなかの皆様からの自由な情報伝達、意見交換の場を作り今後のニーズを探る。

■まちなか自主取り組み支援
（自主事業）：通年

・中心市街地でこれまで既に自主組織により実施されてきた事業の運営をサポート（事務局委託）している

◆桜山商店街振興組合



≪概　況≫

所 在 地　〒446-0044
　　名古屋市昭和区桜山町５－98
代 表 者　理事長　岩田　茂春
設　　立　昭和35年７月22日
Ｔ Ｅ Ｌ　052-841-2411
Ｆ Ａ Ｘ　052-853-2943
従業員数　28人
役 員 数　９人
（組合員数・役員数は平成24年４月１日現在）

≪商店街活性化のコンセプト≫

テ ー マ：地域に根ざした“縁側的な商店街づくり”

周辺を住宅街に囲まれ多くの学校や施設が充実しているものの、人々を思うように集客できないという商店街の課題と地域の高齢化率が高く、多くの福祉施設が立地している地域の課題や環境に対応するため、高齢者や障害者に優しく「誰もが気軽に立ち寄れる、縁側のような商店街づくり」をめざす。

めざす姿：商学連携により地域ブランドをつくりだすとともに地域の困った問題を解決するビジネスを地域住民と展開する

桜山の知名度を高め、多くの集客を図るため、専門知識を持つ大学や新鮮な発想力のある学生と連携し、地域ブランドをつくりだす。また、高齢者や障害者をはじめ地域の人々が抱える問題を解決するための取組みを、ビジネス的手法により、地域住民や団体と連携して展開する。

≪商店街の再生コンセプトの策定にあたって≫

この商店街活性化のコンセプトは、名古屋市の支援を受け、桜山商店街の再生コンセプトとして平成17年度に策定した。

名古屋市では商店街再生のコンセプトづくりを支援し、コンセプトに基づく事業に対して助成を行う「商店街再生事業」を17年度から開始。コンセプトづくりに当たっては名古屋市から専門コンサルタントの派遣があり、桜山ではこの事業を活用した。

また、この前年の16年度には、近接する名古屋市立大学の経済学部から商店街活性化の事業提案を受けており、テーマは「地域の特性を取り入れたユニークな商標の創生とそれを生かした商品の開発」で、この提案をベースにコンセプトづくりをしていくこととし、同大学の学生さんにもコンセプト策定に参画を依頼した。

コンセプトづくりは、商店街や地域の特性、課題の整理から始め、学生さんには街頭でのアンケート調査を依頼した。この基本調査に基づき、桜山商店街再生の「テーマ」と「めざす姿」を取りまとめるとともに、17年度から具体的な事業の実施をスタートさせた。

≪事業の推進体制≫

商店街と大学、地域団体などで協議会「さくらやまを楽しむ会」を組織し、事業を運営している。コーディネーターを依頼し、名古屋市、名古屋市商店街振興組合連合会もオブザーバーとして参加している。現在のメンバーは次のとおり。

●桜山商店街振興組合
●AJU自立の家
●名古屋市立大学芸術工学部の学生・院生
●名古屋市シルバー人材センター
●名古屋市立大学大学祭実行委員会
●昭和生涯学習センター　　など

2005（平成17年度）

名古屋市立大学経済学部のゼミから、商店街活性化の提案があり、これがきっかけとなって同ゼミとの連携関係が生まれた。

同時に、名古屋市の商店街再生事業に取り組み、学生や地域住民との連携を軸とした「商店街再生コンセプト」を策定した。

さらに、コンセプトに基づき、名古屋市立大学の学生と一緒になって商店街のシンボルマークを制作し、また、優良店舗審査事業の取組みをスタートさせた。

2007（平成19年度）

空店舗活用事業に取り組み、障害者福祉団体AJU自立の家、名古屋市立大学、シルバー人材センター、昭和生涯学習センターなどと協議会「さくらやまを楽しむ会」を組織し、商店街へ多くの集客を図るとともに、住民のニーズや課題に対応した事業を実施していく拠点づくりのため、商店街内の空き店舗を活用し、商店街の店「さくらやまーけっと」を運営している。

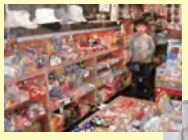
店名は、桜山とマーケットを合わせた造語。平成19年秋、駄菓子などを販売する店としてオープンした。

空店舗活用「さくらやまーけっと」の事業

地域コミュニティの場

だれもが気軽に立ち寄れ、コミュニティが生まれる場づくり

○駄菓子や木祖村特産物品の販売



○手づくり作品等の展示・販売用のレンタルボックス事業

福祉のたまり場

障害を持った車いすの方と地域住民とのふれあいの場づくり

○工芸品などの授産製品の販売

○障害者の方による店番、障害者の方々の活動拠点

地域のつなぎの場

さまざまな人が交流し、ネットワークが生まれる場づくり

○商店街や地域に密着した情報の発信

○学習や会合に利用できるコミュニティスペースの設置

空き店舗の活用は平成18年度に、名古屋市立大学のゼミ学生の発案で週末の八百屋さんをオープンさせたのが始まり、商店街に八百屋がなかったので、学生自身が販売も行った。19年度になって、協議会メンバーにAJU自立の家やシルバー人材センターの方たちが加わり、商店街コンセプトに基づき、空き店舗活用の拡充を検討した。

店舗づくりのコンセプトとしたのは、子どもから近隣の高校生や大学生、そして高齢者まで、だれもが気軽に立ち寄れ、コミュニティが生まれる場づくり。この考えにより、駄菓子の販売を企画した。また、障害者の方たちの「地域の人とふれあえる場がほしい」という声にこたえ、AJU自立の家の人たちの参加の場として、タイの障害者が作った雑貨などを販売するコーナーを設置した。

年末卓話会・交流会

福機連北九州支部

12月17日（火）18時から小倉北区のホテルニュータガワにおいて、福岡県機械金属工業連合会（福機連）北九州支部の年末卓話会・交流会が開催されました。

卓話会の講師には、北九州市産業経済局長　西田　幸生氏をお迎えし､「北九州市新成長戦略」についてお話していただきました。

その内容の一部を紹介します。

1　北九州市産業・雇用の現状について

総人口は、昭和54年の106.8万人をピークに減少を続け、平成25年には96.8万人となっており、平成32年時点での人口は、各政策効果等も踏まえ、87～94万人と各機関が推計している。

生産年齢人口（15～64歳）は60万人から最大で9.6万人減少する一方で、高齢者（65歳以上）は24.6万人から最大で4.2万人増加するとしている。

年齢階級別人口を福岡市と比較すると、20～40歳代での構成人口の差が大きく、地元就職率の向上やＩターンなどを通じて、この年齢層を増やす対策が必要である。

そのほかに、市内総生産の推移と国内総生産に占める割合、経済活動別総生産の福岡市との比較、労働人口の推移、産業3分類にみる就業者構成比、有効求人倍率の推移、職種別有効求人倍率、北九州市の産業の動向、市民所得の推移などについて説明がなされた。

2　新成長戦略について

産業・雇用の現状を踏まえ、本市経済の課題・問題点として、

①地域経済を支える地域企業への更なる支援
②ものづくり産業の競争力強化
③サービス産業の拡充
④グローバル需要の取り込み
⑤安定・安価なエネルギー供給

を掲げている。

新たな技術と豊かな生活を創り出すアジアの先端産業都市を目標像に、次の５つの方向性を打出している。

①地域企業が元気に活動し続ける環境整備
②高付加価値ものづくりクラスターの形成
③国内潜在需要に対応したサービス産業振興
④グローバル需要を取り込むビジネス拠点の形成
⑤地域エネルギー拠点の形成

この新成長戦略を推進することで、平成27年度までに新たに8,000人の雇用創出、平成32年度までに市内総生産(名目)4兆円、市民所得の政令市中位を成果目標としている。

副市長を本部長に地元企業支援本部を設置し、国際戦略総合特区等を活用した支援などを含めて、個々の企業の課題に対応していく。

などが話されました。

卓話会終了後、西田市産業経済局長、吉武市中小企業振興課長、春日商工中金北九州支店長、黒木中央会北九州支所長、松本福機連会長の出席の下で交流会を開催し活発な意見交換が行われ盛会のうちに終了しました。

組合訪問記

《組合概要》

団体名　魚町サンロード商店街協同組合
代表者　理事長　梯　　輝　元
所在地　北九州市小倉北区魚町3-3-20
ＴＥＬ　093-531-0331
ＦＡＸ　093-521-3939
設　立　昭和54年３月29日
業　種　商店街（物品販売・サービス・飲食店）
組合員　31名

事務所にて

◎組合設立の動機など

昭和54年にアーケード建設のために設立されました。小倉駅から南に約400mの所に位置し、魚町銀天街と平和通りに挟まれた鳥町筋沿いにあり、南北に伸びる約108mのアーケードのある商店街です。魚町銀天街より一本東の通りにあるため、太陽がいち早く射すところから魚町サンロードと名付けられました。

◎現在の活動状況など

組合員数も31名と少なく、アットホーム感の漂う商店街で、毎月第１土曜日には、組合員全員でカラー舗装を清掃しています。また、第３日曜日には、手作り作家たちのマーケット「魚町サンロードよりみち市」を開催しています。

◎当面の課題・解決策など

商店主も高齢化し、後継者不足もあって空き店舗が７店舗と増え、歩行者通行量も魚町銀天街の約６分の１です。このような状況を打開するため、青年部を組織し、補助金を有効活用して研修会・勉強会などを開催しています。本組合と意欲のある商店主の出資を仰ぎ、街の活性化と事業のスピード化を目的にまちづくり会社「株式会社鳥町ストリートアライアンス」を設立しました。また､「北九州リノベーションまちづくり協議会」が主催する「第４回リノベーションスクール」の題材にも入れてもらい、全国から応募した生徒さんを中心に魚町サンロードの将来像について、ワークショップを開催してもらいました。

◎将来像など

組合員の減少などでアーケードの維持管理ができなくなったので、平成25年８月の総会でアーケードの撤去を決議しました。アーケード撤去を契機に新たな商店街に生まれ変わろうと、神奈川大学・九州工業大学・北九州市立大学の３大学の協力を得、提言を受けて具体化への作業中です。

提言の中にもあった商店街内の公共空間を活用したイベント活動、カラー舗装撤去後の植栽などにも取り組んでいこうと考えています。

◎代表者の趣味など

司法書士会北九州支部のソフトボールチームに所属し、11月には、弁護士会、税理士会、土地家屋調査士会なども参加する恒例の士業対抗ソフトボール大会で、昨年に続いて第３位でした。来年こそは初優勝を目指したいと、また、勝っても負けてもスポーツの後の一杯はいいですねと楽しそうに話されました。

師走のお忙しい中お尋ねしたにもかかわらず終始にこやかにお話いただきありがとうございました。

組合訪問記

《組合概要》

団体名　東小倉工業団地協同組合
代表者　理事長　山　岡　義　昭
所在地　北九州市小倉南区新曽根3-7
ＴＥＬ　093-473-4010
ＦＡＸ　093-473-4010
設　立　昭和59年１月７日
業　種　製造業
組合員　11名

組合事務所にて

◎設立の動機・経過など

かつての戸畑市（現戸畑区）沖台地区は製造業を中心に中小企業が集積していましたが、時代の変化とともに住宅が混在し始め、騒音問題などで操業が厳しくなってきた頃、北九州市の住工分離政策により昭和55年に「戸畑区沖台地区移転準備会」を結成、昭和59年に「東小倉工業団地協同組合」を設立し、昭和60～61年にかけて12社が工業団地への移転を完了しました。その後いろいろありましたが、多くの方々のご支援ご協力により今年で30周年を迎えることができました。

あの頃は、欧米諸国との経済摩擦や国の財政再建、粗鋼生産の大幅な減少などで景気は低迷し、仕事量の減少で経営が苦しくなり移転を躊躇する企業が出てくるなど、当時の役員は組合員への説得や維持確保に大変苦労されたようです。

◎現在の活動状況など

現在の組合は、大型製缶１社、建築金物関係設計製作３社、鋳造部品加工関係２社、金型製作関係２社、SUSアルミ製缶モニュメント製作１社、特殊溶接・精密機械加工組立２社の11社で構成されています。月１回の例会を開催し、会計報告やその時宜にあった研修会、情報交換などを行なっています。また、団地内の若手で「一意会」を組織し勉強会などを開催しており、今回の30周年事業もこの会が中心となり執り行いました。

◎当面の課題など

日本経済がデフレスパイラルにおちいり長引く不況で、受注量の減少に加え材料費が高騰しているのに受注単価は値下げされるなど企業経営は一層厳しくなっています。アベノミクス効果が地方の中小・零細企業にまで届くように日本丸の舵取りをお願いしたいですね。

また、当工業団地の半数の事業所では世代交代の時期となり代表者の引継ぎが行われています。若手経営者や後継者の育成とスムーズな事業承継が大きな課題になってくると思います。

◎趣味など

数年前まではスポーツ特に野球やゴルフなどはプレーするのも観戦するのも好きでしたが、今では、身体が思うように動かないので早朝野球のお世話をしています。歳はとりたくないですね、と笑いながら話していただきました。

師走の忙しい中、お伺いしたにもかかわらず親切丁寧にお話いただきありがとうございました。

北九州オンリーワン企業の挑戦

～未来に躍進する北九州を代表する企業として～

北九州オンリーワン企業
kitakyushu only one company 2013

●関連ホームページ：
http://www.city.kitakyushu.lg.jp/sangyo/10700055.html

●問い合わせ先：
北九州市産業経済局中小企業振興課
TEL　093-873-1433

北九州発の独創的な製品や技術、サービスを提供する優れた中小企業を「オンリーワン企業」として認定し、これらの企業を本市の看板企業として、国内外に情報発信・プロモーションしています。

平成25年度の第３回は、平成21年度の第１回、平成23年度の第２回に続き、６社の企業を認定しました。

平成25年７月に、北九州イノベーションギャラリーにおいて、第3回「北九州オンリーワン企業」の認定式を開催し、北橋市長から認定企業６社の代表者へ、認定証を手渡しました。

今後、認定企業の販路拡大や海外展開等を支援するため、様々な支援施策を集中的に投入することにより、企業の成長を支援していくことにしています。

桑原電工株式会社

大賞

電動機・発電機の材料調達から製作、修理までの一貫したトータルソリューション提供

代表取締役社長　野田　英治
住 所：北九州市八幡西区築地町10-20
電 話：093-621-6731
URL：http://www.kuwaden.com/
【事業内容】電動機・発電機の製作・修理、検査・診断

大型回転機の修理 業界No. １企業

桑原電工（株）は、1945年に電動機や発電機など回転機の改造・修理を業として北九州市八幡西区で創業以来、技術重視の経営を進めながら高度な技術を蓄積してきた。現在では、電動機や発電機の設計から製作、改造、修理、メンテナンスまで一貫して対応できる回転機のプロフェッショナルとして、業容を拡大している。

特に、大型回転機のコイルの巻き替えや修理は、同社の基盤となっている事業であり、この分野においては業界No. １の実績を有している。

同社は、これまでに蓄積した故障に関する豊富な知見と診断技術で、お客さまの事故原因を突き止めて最適な修理を実施し、事故の再発防止をはかるための保守方法の提案までも行うお客さまの立場に立った対応により、一部では「モーターのお医者さん」と呼ばれるまでの高い評価を受けている。

＜野田英治社長＞

業界唯一の“絶縁診断システム”

同社は、一万件に及ぶ絶縁診断データと千件もの絶縁破壊実測データを基に、業界で唯一となる“CLiPS（クリップス）”と呼ぶ絶縁診断システムを実用化している。

CLiPSは、お客さまの回転機の推定破壊電圧値を算出、これに基づきその余寿命を推定することにより、最適な修理や保守を実現しようとするものであり、お客さまにとっては、突発故障の低減がはかれるとともに、保守・修理コストの低減につながるという大きなメリットがある。

回転機用電線製造ラインを有し、超短納期での高圧コイル製作と修理に対応

絶縁破壊による突然の故障で高圧コイルの巻き替えが必要になるような場合、一般的な電動機メーカーの対応は、140日もの日数が掛ってしまうが、同社の場合は一般的なメーカーのわずか1/10である14日で対応できるため、顧客にとってはとてもありがたい存在になっている。

この驚くべき短納期対応の背景には、顧客満足を最優先する同社の機動的対応力と共に、回転機械の修理業界では唯一と言われる電線の製造から内製化し、高圧コイルを自社生産できる体制があることは言うまでもない。

＜直流電動機の固定子巻き替え＞

技術を重視し、全員が技術の研鑽に取り組む経営

こうした回転機に関する高度な技術は同社の経営理念、そしてその実現に向けた行動規範に沿って、企業戦略として“技術重視の経営”を組織的、計画的に進めてきた賜物であることは想像に難くない。

同社には、現在、設計技術者が20人、絶縁技術者が15人も在籍しており、桑原電工（株）は希有な“技術者を多数社員に抱える修理会社”と称してよいであろう。

シャボン玉石けん株式会社

大賞

無添加石けんの製造

代表取締役社長　森田　隼人
住 所：北九州市若松区南二島2-23-1
電 話：093-701-3181
URL：http://www.shabon.com/
【事業内容】無添加石けんの製造

無添加石鹸のパイオニア

シャボン玉石けん（株）は、北九州市若松区に本社を置く、創業百年を越える老舗企業である。特にこの40年間は、「健康な体ときれいな水を守る」という企業理念のもと、無添加石けんの市場を切り開いてきたパイオニアであり、No.1企業である。

釜炊き製法で一週間かけて丁寧に作られる石けん

同社が顧客に支持されているもう一つの特長は、「ケン化法」という1週間から10日もかけて石けんを釜でじっくりと炊き上げる製法により、コストはかさむが、天然の保湿成分を含み“ツッパリ感”のないしっとりした使用感のでる石けんを生み出していることにある。世の中に一般に出回っている石けんは、「中和法」と呼ばれる方法で、短時間で大量生産されており、一般の石けんで顔を洗うとわかるように、どうしても“ツッパリ感”が残ってしまう。

1週間以上もじっくり炊きこむ石けんの製造では、「釜炊き10年」という業界用語があるように、熟練した職人の技が必要になる。同社では、釜炊き職人が、石けんができ上がるまで何度も釜の中を確認をする。目だけではなく五感を使って反応具合を確認していき、実際に舌先で味見をしながら丹精込めて石けんを作る。こうして天然の動植物性油脂を使用した、純度99%という無添加の石けんができ上がっていく。

同社には、石けん炊き一筋に64年、石けん作りのことすべてを知り尽くす、日本一とも言える石けん職人の方もいて、80歳を過ぎた今も顧問として、週1日後進の指導にあたっている。こうしたものづくり技術者の考え方や技を若手に伝えていこうとする姿勢も、同社の経営の素晴らしさと言えるのではなかろうか。

無添加にこだわる新製品開発

同社は、企業理念の達成を目指して、“石けんリサーチセンター”や“感染症対策研究センター”を設立、積極的に新製品開発に取り組んでいる。

同社の石けん系泡消火剤“ミラクルフォーム”は、北九州市消防局や北九州市立大学などとの産学官連携により誕生した商品で、消防自動車に搭載される消火剤である。その特長は、従来の1/17という極めて少ない水量で消火ができ、石けん系の消火剤のため従来の消火剤に比べ毒性が極めて小さいことにあり、大量の水が必要になりかねない震災時への対応が可能となった。更には、“環境配慮型石けん系林野火災用泡消化剤”を開発し、林野火災への貢献が期待されている。

＜森田隼人社長＞

＜無添加石けん＞

宝石・めがねのヨシダ

大賞

めがね、時計、補聴器、宝石の
販売に関するおもてなしサービス

代表取締役　吉田　清春
住 所：北九州市門司区中町1-21
電 話：093-371-0106
URL：http://www.yoshida-moji.com/
【事業内容】時計・宝石・めがねの小売

目に見えるサービスで、地元の圧倒的な支持を得ている

門司地区で眼鏡を購入する人のおよそ５割が利用するという“宝石・めがねのヨシダ”は、JR門司駅前に店舗を構え、めがね、時計、宝石、補聴器などを販売するお店である。「目に見えないものはサービスではない」と、日本でも他に類を見ない数々のサービスの見える化に取り組み、お客さまの支持を獲得し続けている。

ヨシダのサービスの一端を見ると、例えば、めがねの販売は「大切な視力ケア」と捉えて、公益社団法人日本眼鏡技術者協会が認定する検眼士が必ず視力を測定するシステムをとっている。福岡県内に３名しかいないSSS上級検眼士が、同社に２名も在籍していることからも力の入れようがわかる。

また、接客サービスは、お客さまに心からのおもてなしをしたいと、ウエルカムドリンクにはマイセンの高級陶磁器を使用したり、千円札のお釣りには必ず新券を用意、また突然の雨には傘の無料貸出しサービスを行ったりと、ヨシダのサービスを挙げると枚挙にいとまがない。

さらにヨシダの見えるサービスの特徴的なものに、店企画の“イベントの開催”がある。吉田社長やスタッフがガイドを務める日帰りバス旅行や、宝石を身につける機会を提供するディナーショー、補聴器のユーザーに聞きやすいように配慮されたピアノコンサートなどを企画し、多くの顧客に喜んでいただいているという。

「めがねを売るのではなく、良く見える状態を売る」「補聴器を売るのではなく、良く聞こえる状態を売る」そして、「その商品を身につけて楽しむ場を提供する」のがヨシダである。

活性化したスタッフによる最高のおもてなし

お客様への最高のおもてなしを演出するのが、「お客さまの笑顔が最大の喜び」というスタッフの方々である。「お客様の笑顔がノルマ」と言うように一般の営業店のようなノルマはなく、皆で助け合う家庭的雰囲気の店だからこそできるのが、最高のおもてなしであろう。

こうした同社の社風を象徴するのが、毎日朝礼で行われる笑顔の“肩たたき”であろう。社長も参加し、全員が一列になって童謡“肩たたき”を歌いながら前の人の肩をたたくスキンシップが、従業員の連帯感の醸成に一役買っているのはまちがいない。「スタッフ自身が仕事を楽しめないとお客さまも楽しめません」と言うのは、吉田社長の言葉である。

＜吉田清春社長＞

＜宝石・めがねのヨシダ店舗＞

株式会社シノハラ製作所

特別賞

スライド式ソファベッド

代表取締役　篠原　　猛
住 所：北九州市門司区片上町3-33
電 話：093-381-4135
URL：http://www.shinohara-ss.co.jp/
【事業内容】①ソファベッドの製造　②ソファ、椅子などの修理・張替え

＜篠原猛社長＞

スライド式ソファベッドの市場を独占する

（株）シノハラ製作所は、1923年に北九州市門司区で創業した、ソファベッドの製造販売を業とする企業である。日本のソファベッド市場全体のおよそ40%を占有し、その中でスライド式ソファベッドに限ると、市場をほぼ独占している。

このスライド式ソファベッドは、1950年代に（株）シノハラ製作所が試行錯誤を重ねた末、独自の金具を使った機構を開発、世に送り出した同社オリジナルの商品である。

一般のソファベッドは、背がそのまま後ろに倒れるため、その分のスペースを必要とし、操作の都度ソファを移動させる作業が必要になる。

同社のスライド式ソファベッドは、座面下部を手前に引き出すことにより背が連動して倒れる機構のため、後ろにスペースを必要とせず、また操作が簡単にできることが特長になっている。

また一般のソファベッドは、ベッドに変化した時に座面をフラットにするため、ソファ時に座面に傾斜がついておらず座り心地に問題を抱えるが、同社の機構ではソファ時に座面に5度の傾斜を持たせても、ベッドにした時にフラットにすることができるという特徴を有する。

Ｎｏ．１製品を支える他社の追随を許さない高い技術力

この顧客価値の高いスライド式ソファベッドを可能にしているのは、半永久的に締結効果を持つという金属製リベットを用いた“スライド式金具（ヒンジ）”である。

留める箇所によりリベットの大きさを変えたり、ギアの精度を確かなものにする「ものづくりの技術」は、未だ他社から類似品が出ないことを見ても相当な高さにあることがうかがわれる。

＜スライド式ソファベッド＞

エコロジカルな“ソファの張替・再生事業”に進出

同社は、エコ活動としてソファの張替・再生事業の取組みを始め、顧客の口コミから年々売上げを伸ばしている。張替時に廃棄物として出てくる布地やレザーは、手間を加えてティッシュカバーなどの小物品に加工し、工場見学者などへのお土産として無料提供し、喜ばれている。

また同社は、「地域活性化を意図した親子釣り大会」や「幸せ祈願の餅つき大会」、また「きれいな街づくりのための清掃活動」など、地域貢献活動に全社を挙げて積極的に取り組んでいる。

楽しい株式会社

特別賞

北九州エコタウン発
廃棄物とバイオマスの新資源化システム

代表取締役　松尾　康志
住 所：北九州市若松区向洋町10-1 北九州エコタウン実証研究エリア内
電 話：093-752-5300
URL：http://www.fun-c.jp/
【事業内容】環境関連サービス（食品廃棄物リサイクルシステム等）

＜松尾康志社長＞

普及が進む食品廃棄物の地域内循環型サービス“メリーズシステム”

社名の“楽しい”は、創業時に「環境保全を楽しくやっていこう」との想いを込めてつけたという。同社の主力商品である食品廃棄物地域内循環型システム“メリーズシステム”にも、メリー（Merry：陽気な、面白い、楽しい）という結社時の熱い想いが込められている。

このメリーズシステムは、地域全体や食品工場、またレストランなどで発生する生ごみを、その場で微生物の力を利用して減量・堆肥化し、その堆肥を使い安全・安心な野菜をつくり、それがまた地域や食品工場に戻るという地域内循環サービスである。これによりゴミの量の削減とごみ処理コストの低減、さらには二酸化炭素の削減にも貢献しているシステムである。

同社は、堆肥化に必要な装置を販売するのではなく、レンタルという形でも顧客に提供することができ、堆肥の回収もメリーズグループが担当するため、顧客は、製品を購入する初期投資コストが削減できるとともに、手間いらずでサービスメリットを享受できるようになっている。

現在、メリーズシステムは、全国の自治体や事業者など370もの事業体で採用され、年間25,000トンの食品廃棄物がリサイクルされ、同社はこの分野でNo.1の地位を確立している。

廃プラ、可燃ごみなどをトータルに再資源化する“新資源化システム”を開発

北九州エコタウンで開発された新技術である「接触分解油化装置」を利用し、廃プラスチックや食用油などから重油・軽油相当分の油を抽出、その他の可燃ごみは炭化装置で炭化、自社保有の堆肥化装置と合わせて、総合的な再資源化システム“新資源化システム”を開発した。

これにより、地域で発生する廃棄物のおよそ9割を再利用することが可能となる。焼却炉を持たない地方自治体や離島などから高い関心が寄せられているという。

＜食品残渣発酵分解装置＞

竹箸“CERES”を開発、福祉施設と連携し竹炭へのリサイクルを推進する

また、竹炭へのリサイクル可能な抗菌竹箸“CERES”を開発、年間6,000万膳を全国の飲食店に供給している。そしてその6割を回収、全国16か所の障害者福祉施設の協力を得て、全量を竹炭化し、消臭剤としての利用や堆肥の副原料として土にかえす取組みを行っている。

このように、環境保全への取組みを通じ、地球環境への貢献はもとより、事業者や農業従事者、そして生活者さらには社会福祉の分野にまで、好循環をもたらす“楽しい会社”と言えるであろう。

有限会社ふく太郎本部

特別賞

ふぐ業界初のHACCP(※)
認定工場

代表取締役　古川　幸弘
住 所：北九州市門司区白野江1-21-24
電 話：093-341-2951
URL：http://www.fukutarou.co.jp/
【事業内容】ふく料理の製造販売

ふく料理の宅配を全国で初めて商品化

（有）ふく太郎本部は、北九州市門司区に本社、工場を構え、全国の家庭へのふく料理の宅配、また料理店や量販店向けに業務用フグ商材を製造、販売する会社である。

同社は、1983年に全国で初めて「ふく料理の宅配」を商品化したパイオニアで、現在では、フグの産直ギフトの出荷件数が年間６万件にも上るという、この分野の大手企業である。

また最近では、長年培ってきたふく料理の技術をベースに、料理店などの業務用顧客向けに、冷凍のフグ刺身などの食材をレシピ付きで提供する事業を始めている。料理店にとっては、－196℃の超低温で瞬間冷凍した、生と遜色ない鮮度のふく料理が専門の職人でなくても提供できる簡便さから、大きな支持を得ているという。

2012年に東京の銀座にふく料理店を開店し、ふく料理を様々な方法でお客さまに提供している。

＜古川幸弘社長＞

フグ業界で初めて“HACCP”の認定を取得している徹底した安全管理

（有）ふく太郎本部の躍進を支え、基盤となっているのは、他に類を見ない“食の安全管理”への取組みである。

福岡県内では、フグ加工場にフグ処理師が最低1名いれば処理を行うことができるが、同社には19人に上る免許取得者がおり、またパート社員に至るまでフグ毒の判別技術の教育が行われ、工場内には、専門の知識を持たない者はいないまでに徹底した安全管理が行われている。

また（有）ふく太郎本部は、NASAの宇宙食で採用された食の安全管理手法である“HACCP”の認定を全国フグ業界で初めて取得した企業でもある。原料の受入れから商品ができあがるまでの各工程毎に、HACCPによる衛生管理の手法を用い、食の安全性にかかわる厳しい工程管理体制が同社の発展を支えていることは想像に難くない。

さらに同社は、QRコードを使用したロットトレースシステムを構築、原料の入荷から始まり各工程の情報がロットごとに管理され、万が一客先で不具合が生じたような場合でも、速やかに対応がとれる体制が確立されている。

毒を持つふくの料理をお客さまに提供する上で、最も重要なことは“食の安全”であろう。厳しいHACCPの認定を取得していることでもわかるように、（有）ふく太郎本部は、徹底した安全にこだわる経営を続け、業界では類を見ない高度な安全管理体制を確立している。

＜ふく料理＞

（※）HACCP：Hazard Analysis and Critical Control Point　一般社団法人 大日本水産会認定

第65回中小企業団体全国大会

“つながる絆、ひろがる未来～組合　絆　ルネサンス”

10月24日（木）第65回中小企業団体全国大会が“つながる絆、ひろがる未来～組合　絆　ルネサンス”を大会テーマに、全国の中小企業者・団体関係者2,200名の参加を得て、下記のスローガンを掲げ「滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール（大津市）」において盛大に開催された。

≪大会スローガン≫

1　実感ある景気回復と経済成長の実現
2　組合等連携組織対策の充実強化
3　東日本大震災の産業基盤の再生加速
4　中小企業の投資・雇用を拡大する税制・金融支援の拡充
5　中小企業の実態に十分配慮した社会保障制度の見直し
6　快適なまちづくり等商業・サービス業振興対策の強化

なお、当日は次の方（北中連関係分）が受賞されました。

《組合功労者》

坪根　俊治　小倉電気工事業協同組合　理事長

次期開催地　　東京都

北九州市の就職支援事業で、求人受付中です！

－　人材確保に是非ご活用ください。－

利用無料

－ 大学等の新卒採用なら －

キタキュー就職ナビ（ 北九州地元企業向け新卒採用応援サイト）

http://www.kitakyushushoku.com　キタキュー就職　検索

大学生などを対象に、インターネットを利用して、北九州地域の地元企業を紹介する「学生向け就職情報サイト」です。企業の知名度向上、営業ＰＲツールとしてご利用ください。

また、新卒学生の採用情報が掲載でき、それに興味を持った学生からコンタクトを受けることができます。求人募集できる雇用形態は、正社員のみとなります。

利用対象

企業等　北九州市及び、隣接市町に勤務地を持つ求人企業・事業者

求職者　大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校を卒業予定の学生

－ 概ね40歳までの若年者を求めるなら －

若者ワークプラザ北九州

http://www.shigotomarugoto.info/wakamono

概ね 40 歳までの若年求職者の就業を支援している施設です。

カウンセリングや就職に関する情報提供、スキルアップを図るためのセミナーの開催、ミスマッチの少ない職業紹介など、民間事業者のノウハウ等を活用したワンストップのサービス提供を行っています。求人募集できる雇用形態は、正社員（常用雇用）や契約社員、パート、アルバイトなどとなります。また、求人開拓員が企業の皆様のもとへ訪問し、若者向けの求人の開拓も行っています。

利用対象

企業等　北九州市内に事業所を有する（設置が決定している）企業

求職者　正社員、契約社員・パート・アルバイトなどをお探しの方

－ 即戦力人材をお探しなら －

Ｕ・Ｉターン促進事業

http://www.shigotomarugoto.info/ui-turn　北九州市　Ｕターン　検索

全国のＵターン・Ｉターン就職希望者と、即戦力人材の確保を目指す市内企業とを結び付けるため職業紹介を実施しています。ホームページより求人情報を登録すると、Ｕ・Ｉターン就職希望者に関する情報検索、面接案内の送付や、求職者からの面接エントリーの受付などを行うことができます。求人募集できる雇用形態は、正社員（常用雇用）のみとなります。

利用対象

企業等　北九州市内に事業所を有する（設置が決定している）企業

求職者　現在、北九州市通勤圏外に居住する人（学生を除く）

お問い合わせ　**北九州市産業経済局雇用政策課　TEL：０９３－５８２－２４１９**

第7回「北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰」受賞者決定！！

少子高齢社会において、子どもを産み育て、男女がともに働く喜びを感じることができる社会の実現は、企業と行政が協働で取り組むべき重要な課題です。

誰もが多様な働き方や暮らし方を選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、北九州市では、子育て支援や男女がともに働きやすい環境づくりなど、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組む企業・団体・個人を表彰し、その取組内容を広く皆様に情報提供しています。

この度、平成25年度、第7回の表彰企業等を下記のとおり決定し、去る11月9日北九州市立男女共同参画センター・ムーブにて表彰式を行いました。

市長賞

企業・団体部門

みずほ証券株式会社 北九州支店　証券業　小倉北区米町 1-2-22　従業員数：30 人（うち女性 10 人）

徹底した業務の見直しと意識改革により労働時間の短縮と業績向上を同時に実現

業務時間短縮のため、支店独自の方策として、時短会議の実施、スケジュールなどの共有化、社用車の予約制などに取組み、労働時間の大幅な短縮を実現した。従業員の大半は業務効率化によって捻出された時間を通信教育や資格取得などの自己啓発にあてることで、結果として会社の業績向上も果たすという好循環を生み出している。

奨励賞

企業・団体部門

山九株式会社　プラント事業部　総合建設業　八幡西区築地町 16 番 1 号　従業員数：704 人（うち女性 49 人）

労働時間平準化に向けた多能工化の実施と女性の活用に向けた取組み

特定の作業に従事する社員の長時間労働解消のため、関連会社と連携し、専門以外の技術も習得させる「多能工化」に取り組み、技能の伝承も大事にしながら業務量の偏りを減らすことに成功した。また、男性社員が大多数を占める職場の中で設計部門や管理職に新たに女性を登用し、職域を拡大するなど女性の活躍を広げる取組みを進めている。

学校法人清恵学園 清和幼稚園　学校教育　小倉南区湯川 3-3-30　従業員数：13 人（うち女性 11 人）

人材不足を解消し、働きやすい職場環境を提供する独自の再雇用制度

出産・育児による退職者を再度雇用する「カムバック制度」という独自の再雇用制度を設けた。退職職員の会の開催や、園長と主任によるきめ細かなサポートなどの取組みにより、制度利用者は主任を含め、現職の先生の半数を占めるなど成果が表れている。また、時間外労働の減少に向けて職場を挙げての徹底した「ノー残業デー」の取組みと職員間のコミュニケーションを大事にすることで安心して働ける職場環境につながっている。

株式会社不動産のデパートひろた　不動産業　八幡西区別当町 26-1　従業員数：71 人（うち女性 34 人）

新たな昇進・昇格制度の活用など、女性の活躍を推進

女性の能力を発揮させるため、営業・事務・不動産管理などの各部門に男女を問わず配置し活躍の場を平等に与えている。また、プレゼンテーションにより評価を行う「昇進・昇格プレゼン制度」を新たに設け、自らの意思による昇進・昇格の機会を広げることで、新たな女性管理職の登用を図っている。

個人部門

椰田　郁子　（株式会社ヴィンテージ）

仕事での経験を生かし、出産・育児に係る勤務制度を自ら策定したワーキングマザー

前職では経営コンサルタントとして業務に打ち込みながら、会社で女性社員として初めて出産を迎えることになった。出産後も仕事を続けるため、自ら会社に働きかけ、会社の理解と協力を得ながら、出産・育児に係る勤務制度を自ら作り、最初の制度利用者となる。また、これをきっかけに他の女性社員の出産・育児にもつながる結果となる。現在も４児の子育てと仕事を両立している。

「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン」を実施しました

北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会と北九州市では、１１月を「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進月間」として、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の意義や必要性を広く市民や市内事業所等に理解していただくため、**「実践しよう！ワーク・ライフ・バランス」**をテーマにキャンペーンを実施しました。

今年度は、イクメンとして仕事も子育ても楽しむ俳優・金子貴俊さんによるトークライブイベントをはじめとした様々なイベントでＰＲ活動を行いました。

変えよう！働き方！ はじめよう！充実生活

【問合せ先】北九州市子ども家庭局男女共同参画推進課　TEL 093-582-2405
はじめよう！ﾜｰｸ･ﾗｲﾌ･ﾊﾞﾗﾝｽ http://wlb-kitakyushu.jp （北九州市ﾜｰｸﾗｲﾌ･ﾊﾞﾗﾝｽ推進協議会）

表表紙

加来 保 残闕（ざんけつ） 1999年

アクリル、アルミコラージュ・麻布　181.8×259.1cm
北九州市立美術館蔵

1990年代は、ベルリンの壁崩壊から始まる社会主義体制の崩壊、日本ではバブル経済の崩壊など、国内外情勢は揺れ動き、激動の年代であったといえる。加来にとって1990年代は「崩壊」がキーワードとなった。

1990年代前半から、加来は「鉄」をモチーフにしたシリーズの制作を始める。「かつての鉄都北九州への鎮魂歌」という思いから始まったこのシリーズは、加来のモチーフの中でも、最もモニュメンタル的であり、情感的である。この「鉄」シリーズは、支持体であるパネルにアルミ箔を張り、アクリル絵具で彩色し、紙やすりをかけるという、独特の技法を用いて制作している。金属の光沢と鉄錆を思わせる色彩を組み合わせた表現が、よりこうした傾向を感じさせるのだろう。

本作制作の２年後の2001年、米同時多発テロが発生する。そしてそれに続く世界情勢に対し、加来は憤りを覚え、その激情を作品に込め、本シリーズを制作していった。

アルミコラージュを用いた表現は2003年を最後にして、「海」をモチーフにした表現へと展開していくが、国立関門医療センター内「加来保美術館」開設にあわせて、2008年に再び「残闕」と題する作品を１点制作している。

裏表紙

加来 保 貌（ぼう）—78 1978年

アクリル・麻布　227.3×181.8cm
国立関門医療センター蔵
第１回北九州ビエンナーレ展秀作賞

1970年代、加来は「貌」と題したシリーズに取り組んでいた。青色を基調とした曲線の組み合わせが印象的な「貌」シリーズは、「東洋的な優美、情念を表現した」という。青の曲線が描く伸びやかさは、ちょうど高度経済成長期であった当時の空気を感じさせる。

形態は円環をベースに、いくつかの色彩を組み合わせた簡潔な構成を意識し、そこに日本的な抒情性を加味した抽象表現を試みたシリーズである。

まずアクリルで描いたのち、やすりを丹念にかけることで、アクリル絵具の青色の下から下地の色を出している。この技法によって、平板な発色になりがちなアクリル絵具の画面に、微妙な表情を作り出すことに成功している。

本作は、「第１回北九州ビエンナーレ展」で秀作賞を受賞している。

プロフィール

加来　保 氏

1926	田川郡に生まれる
1945	旧制仙台高等工業学校（現・東北大学）卒業
1948	八幡市中学校美術教師
1950	独立展入選（以後毎年出品）
1956	独立展　独立賞受賞
1958	全九州アンデパンダン展　企画・主宰（八幡市美術工芸館 / 八幡市）
1959	北九州美術家連盟結成
1963	行動展入選（以後毎年出品 70、74 受賞）
1963・64	朝日油絵コンクール出品（北九州市立八幡美術館 / 北九州市八幡東区）
1967	九州制作会議展出品（以後毎年出品）
1972	九州・沖縄選抜展出品　渡欧
1973	可能性の意志展出品（北九州市立八幡美術館 / 北九州市八幡東区）
1974	行動美術会員となる個展
1978	第１回絵画ビエンナーレ秀作賞（北九州市立美術館 / 北九州市戸畑区）
1980	アジア現代美術展出品（福岡市美術館 / 福岡市）
2000	個展（北九州市立美術館・市民ギャラリー / 北九州市戸畑区）
2007	光の交錯・加来保展（11 月 10 日～ 12 月 2 日　北九州市立美術館 / 北九州市戸畑区）
2009	国立関門医療センター内に加来保美術館が開設される（下関市）

北　中　連　日　誌

平成25年9月～

年月日	行　事　名	場　所	
25. 9. 3	福岡ものづくりシンポジウム	福岡市博多区	ホテルレガロ福岡
9. 5	第56回中小企業団体九州大会	長崎市	長崎ブリックホール
9. 9	北九州商工会議所創立50周年記念式典	小倉北区	リーガロイヤルホテル小倉
9. 12	市商連 役員・販促委員合同会議	〃	北九州市立商工貿易会館
9. 27	北中連 正副会長会･理事会	〃	〃
10. 1	福北連携25周年記念講演会	〃	北九州国際会議場
10. 9	アートタウン創造会議	戸畑区	ウェルとばた多目的ホール
10. 10	小倉高等技術専門学校運営協議会	小倉北区	小倉高等技術専門校
10. 18	北九州マイスター審査	北九州市内	
10. 19	北九州エコマンス　レセプション	小倉北区	北九州国際会議場
10. 23	戸畑高等技術専門校運営協議会	戸畑区	戸畑高等技術専門校
〃	第13回産学連携フェア開会式	小倉北区	北九州学術研究都市会議場
10. 24	北九州市新成長戦略会議	〃	ホテルクラウンパレス小倉
10. 24～25	第65回中小企業団体全国大会	滋賀県	滋賀県立芸術劇場
10. 28～29	福機連北九州支部 先進企業視察	静岡県	㈱小糸製作所、㈱焼津冷凍
10. 31	福岡県中小企業団体中央会 組織委員会	福岡市博多区	福岡県中小企業振興センター
11. 1	北九州商工会議所 役員・議員就任披露パーティー	小倉北区	リーガロイヤルホテル小倉
11. 2	まつり起業祭 開会式	八幡東区	大谷メインステージ
11. 7	市商連 役員会	小倉北区	北九州市立商工貿易会館
11. 9	ワークライフバランス企業向け講演会	〃	ムーブ
11. 11	福機連 年金基金理事会	福岡市博多区	福岡県中小企業振興センター
11. 11～12	市商連 先進商店街視察	愛知県	㈱まちづくり岡崎桜山商店街振興組合
11. 12	北金会 講演会・懇親会	八幡東区	千草ホテル
11. 14	中央会 北九州地区組合事務局担当者研修会	小倉北区	リーガロイヤルホテル小倉
11. 15	福岡県中小企業団体中央会 正副会長会	福岡市博多区	福岡県中小企業振興センター
〃	北九州市制50周年記念国際車椅子バスケットボール大会	八幡東区	北九州市立総合体育館
11. 19	北中連 上半期監査会	小倉北区	北中連事務所
11. 21	福岡県に対する 26年度要望の提出	福岡市博多区	福岡県庁
〃	北九州市環境審議会	小倉北区	ホテルクラウンパレス小倉
11. 22	北九州女性会議30周年記念式典	〃	リーガロイヤルホテル小倉
〃	第22回暴力追放福岡県民大会	〃	北九州芸術劇場大ホール
11. 25	北九州市に対する 26年度要望の提出	〃	北九州市庁舎
11. 26	平成25年度 福岡県地域経済懇談会･懇親会	〃	ホテルニュータガワ
11. 29	九州電力㈱との対話会	〃	新小倉ビル
12. 12	北中連 理事会	〃	北九州市立商工貿易会館
12. 17	福機連北九州支部 卓話会	〃	ホテルニュータガワ

北中連　役員名簿

平成25年５月29日 現在

No.	役職名	氏　名	組　合　名
1	会　長	自　見　榮　祐	響工業団地（協）
2	副会長	池　田　幹　友	北九州塗装（協）
3	〃	大　坪　常三郎	（協）一乗
4	〃	柿　原　壽　継	天神商店街（振）
5	〃	安心院　武　彦	小倉機器工業（協）
6	〃	松　本　和　朗	北九州工業団地（協）
7	常任理事	縄　田　清　髙	北九州管工事（協）
8	〃	富　澤　善　和	新日本設備工業（協）
9	〃	山　口　辰　嘉	八幡電気工事業（協）
10	〃	増　田　康　雄	戸畑貨物センター（協）
11	〃	岩　男　平八郎	萩原・青山商店街（協）
12	理　事	村　山　克　彦	小倉鉄工団地（協）
13	〃	瀬　口　裕　章	魚町商店街（振）
14	〃	山　口　光　政	北九州市防水工事業（協）
15	〃	坪　根　俊　治	小倉電気工事業（協）
16	〃	森　若　国　光	京築砂利採取販売（協）
17	〃	福　山　征　也	中間市建設（協）
18	〃	原　田　健　次	北九州葬祭業（協）
19	〃	宮　﨑　敏　久	戸畑中本町商店街（協）
20	〃	白　石　春　利	（協）テクノタウン戸畑
21	〃	岡　住　　奏	（協）安協会
1	監　事	杉　岡　密　雄	小倉駅前商店街（協）
2	〃	山　岡　義　昭	東小倉工業団地（協）
3	〃	梯　　輝　元	魚町サンロード商店街（協）

会　員　名　簿

（H25．4．1現在）

No.	組合の名称	〒	組合の所在地	ＴＥＬ
1	江﨑グループ(協)	800-0027	門司区黄金町6-28	372-5556
2	北九州スポーツ用品(協)	800-0024	門司区大里戸ノ上1丁目3-13	381-0141
3	桟橋通りレトロ(協)	801-0834	門司区本町3-8 藤井家具店内	321-1302
4	新門司工業団地(協)	800-0115	門司区新門司3丁目67-60	483-1111
5	(協)大里商店連合会	800-0025	門司区柳町1丁目2-11	381-4127
6	東門司商店街(協)	801-0873	門司区東門司1丁目12-31	332-7277
7	門司中央市場商業(協)	801-0864	門司区老松町1-18	321-4025
8	柳市場(協)	800-0025	門司区柳町1丁目6-1	381-0604
9	(協)一　乗	803-0801	小倉北区西港町61-14	591-4100
10	魚町サンロード商店街(協)	802-0006	小倉北区魚町3丁目3-20	531-0331
11	魚町商店街(振)	802-0006	小倉北区魚町3丁目1-15	521-6801
12	北九州医師事業(協)	802-0075	小倉北区昭和町20-7　こだまハイツ102号	922-1723
13	北九州管工事(協)	803-0814	小倉北区大手町6-27	592-1592
14	北九州広域生コンクリート(協)	802-0001	小倉北区浅野2丁目6-16 マルサンビル2F	511-6699
15	北九州個人タクシー (協)	803-0864	小倉北区熊谷4丁目15-20	592-3155
16	労働保険事務組合 北九州市小倉中小企業労働福祉協議会	803-0814	小倉北区大手町4-23-201	571-1655
17	北九州市青果商業(協)	803-0801	小倉北区西港町94-9 北九州市中央卸売市場内	583-2284
18	北九州市防水工事業(協)	802-0082	小倉北区古船場町4-17　近藤ビル2F	531-4607
19	北九州中小商工業者(協)	802-0065	小倉北区三萩野2丁目3-5　民商会館内	921-6981
20	北九州ビルメンテナンス(協)	802-0081	小倉北区紺屋町4-6 北九州ビル	531-3288
21	北九州ファッション産業開発(協)	802-0004	小倉北区鍛冶町2-2-11　ＮＲＣＣ	511-1800
22	黄金商店街(協)	802-0071	小倉北区黄金1丁目1-23 2F	941-9182
23	小倉魚町二番街(協)	802-0006	小倉北区魚町2-3-7　はしむら商店	521-7471
24	小倉駅前商店街(協)	802-0002	小倉北区京町2丁目7-15	511-6104
25	小倉機器工業(協)	802-0011	小倉北区重住3丁目4-25　㈱九州発条内	931-0484
26	小倉タクシー事業(協)	803-0861	小倉北区篠崎1丁目6-2	591-0630
27	小倉中央銀座商店街(協)	802-0006	小倉北区魚町1丁目2-5	531-6785
28	小倉電気工事業(協)	802-0026	小倉北区大畠1丁目7-15	521-3203
29	電九協北九州電設(協)	803-0856	小倉北区弁天町3-12	571-8778
30	戸畑貨物センター (協)	803-0801	小倉北区西港町92-6	571-4337
31	(協)鳥町共栄会	802-0006	小倉北区魚町2丁目3-6	531-5479
32	(協)日専連北九州	802-0005	小倉北区堺町1丁目6番15号　日専連ビル9F	521-7550
33	北九メンテ(協)	803-0846	小倉北区下到津2丁目7-6	591-0266
34	毎日新聞西部販売店(協)	802-8651	小倉北区紺屋町13-1	541-3274
35	八幡第一機械(協)	803-0835	小倉北区井堀4丁目9-9 サンエス工業株式会社内	581-3851
36	(協)北九州イベントスタッフ協会	802-0823	小倉南区舞ヶ丘2-3-8	963-1099
37	北九州エルピーガス事業(協)	802-0978	小倉南区蒲生1-1-26-3F ＬＰガス会館内	962-6803
38	北九州工業団地(協)	800-0211	小倉南区新曽根8-39	471-7159
39	キック(協)	800-0221	小倉南区下曽根新町13-1 ㈱アステムヘルスケア内	473-0720
40	小倉鉄工団地(協)	803-0185	小倉南区石原町175番地	451-0150

No.	組合の名称	〒	組合の所在地	ＴＥＬ
41	城野名店街(協)	802-0801	小倉南区富士見1丁目4-1　㈱ダイエー内	922-1381
42	新日本設備工業(協)	803-0185	小倉南区大字石原町　小倉鉄工団地内 日田建工㈱内	452-3835
43	星友茶商(協)	802-0804	小倉南区下城野2丁目5-11 大喜ビル1F6号	951-7884
44	東小倉工業団地(協)	800-0211	小倉南区新曽根3-7	473-4010
45	北九州運輸(協)	805-0061	八幡東区西本町1丁目3-18	671-1991
46	北九州ペストコントロール(協)	805-0015	八幡東区荒生田2丁目1-1	651-4701
47	九築工業(協)	805-0017	八幡東区山王1丁目9-10　経理課	671-1635
48	共栄開発(協)	805-0019	八幡東区中央2丁目24-5 ㈱芳賀内	671-1316
49	玉栄茶業(協)	806-0021	八幡西区黒崎5丁目5-22　㈱大黒屋内	645-5588
50	ジェーイーシー (協)	805-0019	八幡東区中央3丁目2-20　エルゼ内	681-1233
51	八幡祇園商業(協)	805-0067	八幡東区祇園1丁目6-1　三晃電器内	671-6023
52	八幡祇園町銀天街(協)	805-0067	八幡東区祇園2丁目7-3	681-1854
53	八幡中央区商店街(協)	805-0019	八幡東区中央2丁目16-10	671-4340
54	八幡電気工事業(協)	805-0061	八幡東区西本町1-11-3 北鐵ビル2F	681-7572
55	(協)吉川グループ	805-0059	八幡東区尾倉2丁目1-2　吉川工業㈱内	671-8626
56	(協)安協会	806-0011	八幡西区紅梅3丁目1-21	631-3711
57	(協)折尾商連	807-0825	八幡西区折尾3丁目1-32	691-1462
58	北九州トヨタグループ(協)	806-0041	八幡西区皇后崎町14-6	642-2111
59	黒崎駅前新天街(協)	806-0021	八幡西区黒崎2丁目7-16	
60	三ヶ森商店街(振)	807-0843	八幡西区三ヶ森3丁目10-18	612-2261
61	西部興産グループ事業(協)	806-0064	八幡西区割子川1丁目17-32	612-7711
62	萩原・青山商店街(協)	806-0059	八幡西区萩原1丁目7-10	621-5416
63	九州ツバメ石油(協)	804-0077	戸畑区牧山海岸4-48	871-1330
64	(協)くすりの九友会	804-0091	戸畑区三六町14-12	871-1220
65	清掃美化(協)	804-0021	戸畑区一枝3丁目6-12	883-1552
66	(協)テクノタウン戸畑	804-0077	戸畑区牧山海岸2-26	871-2738
67	天神商店街(振)	804-0094	戸畑区天神2丁目9-8	882-8488
68	戸畑中本町商店街(協)	804-0061	戸畑区中本町3-10　中本町ビル	881-5473
69	西日本砂、砂利採取販売(協)	804-0075	戸畑区北鳥旗町2-15　ＫＳＫビル	871-2701
70	福壽産業(協)	804-0011	戸畑区中原西2丁目18-12	871-3724
71	北九州葬祭業(協)	808-0024	若松区浜町2丁目3-28　㈱光善社内	761-2559
72	北九州塗装(協)	808-0109	若松区南二島2丁目17-18	701-2300
73	北九洲包装函(協)	808-0021	若松区響町1丁目88-11 山本段ボール㈱内	751-0200
74	鶴丸海運船主(協)	808-0034	若松区本町1丁目5-11　鶴丸汽船内	761-5631
75	響工業団地(協)	808-0022	若松区大字安瀬1番地25	751-4561
76	明治町商店街(振)	808-0034	若松区本町2丁目9-4	761-5473
77	(協)若松商連	808-0034	若松区本町2丁目3-19	771-2351
78	遠賀食肉事業(協)	811-4302	遠賀郡遠賀町広渡2434　㈱福永産業内	293-2299
79	北九州西部青果(協)	809-0001	中間市大字垣生字東七反田1500	243-5177
80	第一物流センター (協)	811-4311	遠賀郡遠賀町大字老良365-1	293-3270
81	中間市管工事(協)	809-0034	中間市中間1丁目6-1	245-0077
82	中間市建設(協)	809-0034	中間市中間1丁目6-5	245-1787
83	築上西部液化ガス事業(協)	829-0313	福岡県築上郡築上町有安179番地	0930-56-0183

賛助会員

No.	企業名(団体名)	〒	住　　所	ＴＥＬ
1	福岡ひびき信用金庫	805-0059	八幡東区尾倉2丁目8番1号	661-2311
2	(株)オフィスソリュ―ションズ北九州	804-0054	戸畑区牧山新町1-23	884-2711
3	(株)カンペックス	807-0821	八幡西区陣原1丁目15-15	643-6065
4	吉田通生	802-0061	小倉北区三郎丸1丁目7-14	923-3536
5	(有)フジプロダクション	802-0064	小倉北区片野1丁目13-1-202	922-3191
6	よしみ工産(株)	804-0094	戸畑区天神1丁目13-5	882-1661
7	北九州高齢者能力活用協議会	804-0067	戸畑区汐井町1-6　ウェルとばた8F	882-5400
8	(株)アクシス	807-0822	八幡西区瀬板1丁目16-1	603-8711
9	(株)せいぜん葬儀誠善社	803-0861	小倉北区篠崎1丁目6-2	571-9999
10	社会福祉法人 福岡コロニー	811-0119	粕屋郡新宮町緑ケ浜1丁目11番1号	092-962-0764
11	北九州商工会議所	802-8522	小倉北区紺屋町13-1	541-0181
12	(公社)九州機械工業振興会	804-0003	戸畑区中原新町1-1	861-3001
13	(一社)福岡県機械金属工業連合会 北九州支部	803-0801	小倉北区古船場町1-35 商工貿易会館7F 北中連内	531-0127
14	北九州市商業総連合会	803-0801	小倉北区古船場町1-35 商工貿易会館7F 北中連内	531-0127
15	(有)システムハウジング	807-0804	八幡西区医生ヶ丘3-5	691-0020
16	(株)総合システム	807-0804	八幡西区医生ヶ丘3-5	603-7174
17	本城西商店連合会	807-0804	八幡西区医生ヶ丘3-5	603-0009
18	西日本産業(株)	804-0081	戸畑区千防3丁目2-18	883-1281
19	(株)メイケン九州	803-0826	小倉北区高峰町4-11	582-4588
20	明光運輸(株)	804-0094	戸畑区天神2丁目2-27	871-5690
21	(株)フジコー	804-0011	戸畑区中原西2丁目18-12	871-3724
22	(株)測　研	804-0013	戸畑区境川2丁目4-5	883-1511
23	(株)ケィ・ビー・エス	802-0014	小倉北区砂津1丁目2-13	522-0096
24	(株)大分銀行	802-0003	小倉北区米町1丁目1番21号	521-8336
25	(株)西日本シティ銀行北九州総本部	802-0006	小倉北区魚町3丁目5-5	511-0926
26	(株)井上産商	804-0092	戸畑区小芝3丁目8番22号	882-2881
27	(株)山本工作所	805-8514	八幡東区大字枝光1950番地の10	681-0378
28	小林修二(吉川工業(株))	805-0061	八幡東区西本町2-2-2-404	090-3514-8878

迎　春

一般社団法人 北九州中小企業団体連合会

会　長　自　見　榮　祐

副会長　池田幹友　　副会長　大坪常三郎
〃　柿原壽継　　〃　安心院武彦
〃　松本和朗

他　役員一同

福岡県中小企業団体中央会

会　長　正　木　計太郎

副会長　髙木　郁夫　　副会長　桑野　龍一
〃　自見　榮祐　　〃　松田　英雄
〃　瀬口　裕章　　専務理事　城　裕介
〃　楠下　広師

他　役職員一同

本　所　〒812-0046　福岡市博多区吉塚本町９番15号
福岡県中小企業振興センター９階
TEL092-622-8780　FAX092-622-6884
http://www.chuokai-fukuoka.or.jp/

北九州支所　〒802-0081　北九州市小倉北区紺屋町12番４号
三井生命北九州小倉ビル４階
TEL093-531-0181　FAX093-531-0469
E-Mail:kokura@chuokai-fukuoka.or.jp

一般社団法人 福岡県機械金属工業連合会

会長　松本和朗　　副会長　森田利彦
副会長　自見榮祐　　〃　安永充孝
〃　尾中盛和　　常務理事　西村慎一

他　役員一同

〒812-0046
福岡市博多区吉塚本町９番15号
福岡県中小企業振興センタービル11F　115号室
電話　092-612-5155　FAX　092-612-5178
E-mail：info@fukukiren-monodzukuri.jp
URL：http://www.fukukiren-monodzukuri.jp

北九州市商業総連合会

会　長　中　川　昭　之

副会長　大澤幸雄（門司区）
〃　甲山博美（小倉北区）
〃　田中孝文（小倉南区）
〃　澤村弘義（八幡東区）
〃　宮﨑敏久（戸畑区）
〃　安部研一（若松区）

〒802-0082　北九州市小倉北区古船場町１番35号　商工貿易会館７階
電話　093-531-0127　FAX　093-531-0399

迎　春

小倉北区魚町三丁目一番十五号
電　話　五二一―六八〇一
ＦＡＸ　五二一―六八〇九

魚町商店街振興組合

代表理事　梯　輝元

門司区新門司三丁目六七番地の六〇
電　話　四八三―一一一一

新門司工業団地協同組合

代表理事　白石正浩

福岡県機械金属工業連合会北九州支部

支部長　**自見榮祐**

〒802-0082　北九州市小倉北区古船場町１番35号
市立商工貿易会館７階北中連内
電　話　093-531-0127
ＦＡＸ　093-531-0399

小倉北区魚町二丁目三―七　はしむら商店内
電　話　五二一―七四七一

小倉魚町二番街協同組合

理事長　杉岡密雄

小倉北区大手町六番二十七号
電　話　五九二―一五九二

北九州管工事協同組合

理事長　縄田清高

小倉北区紺屋町十二番四号
三井生命北九州小倉ビル四階
電　話　五三一―〇一八一

福岡県中小企業団体中央会青年部連絡協議会北九州地区ブロック会

会長　中野隆之

小倉北区紺屋町十二番四号
三井生命北九州小倉ビル四階
電　話　五三一―〇一八一

北九州地区商店街連合会

会長　中川昭之

小倉北区重住三丁目四番二十五号
電　話　九三一―〇四八四
ＦＡＸ　九三一―〇四八五

小倉機器工業協同組合

理事長　安心院武彦

小倉北区京町二丁目七番十五号
電話・ＦＡＸ　五一一―六一〇四

小倉駅前商店街協同組合

理事長　杉岡密雄

北九州市防水工事業協同組合

理事長　**川田　至**

〒802-0082
北九州市小倉北区古船場町4-17　近藤ビル２Ｆ
TEL（093）531-4607　FAX（093）531-4609
E-mail:kitakiyu.bou@train.ocn.ne.jp

迎　春

小倉南区新曽根八番三十九号
電話　四七一―七一五九
FAX　四七一―七一七一
北九州工業団地協同組合
代表理事　松本和朗

小倉南区新曽根三番七号
電話・FAX　四七三―四〇一〇
東小倉工業団地協同組合
代表理事　山岡義昭

小倉南区蒲生一丁目一番二十六号LPガス会館内
電話　九六二―六八〇三
FAX　九六二―六八一〇
北九州エルピーガス事業協同組合
代表理事　高宮歳繼

小倉北区大畠一丁目七番十五号
電話　五二一―三二〇三
FAX　五四一―二五九五
小倉電気工事業協同組合
理事長　永瀬信親

八幡西区楠橋南一丁目十一番二号
電話　六一九―一三八一
FAX　六一九―一三八二
協同組合　一乗
代表理事　大坪常三郎

八幡西区萩原一丁目七番十号
電話　六二一―五四一六
萩原・青山商店街協同組合
理事長　岩男平八郎

八幡東区西本町一丁目十一番三号
電話　六八一―七五七二
FAX　六八一―五一二〇
八幡電気工事業協同組合
理事長　樋口和宏

小倉南区大字石原町一七五番地
電話　四五一―〇一五〇
FAX　四五一―〇一五二
小倉鉄工団地協同組合
代表理事　村山克彦

NISSENREN

地域に奉仕する
協同組合日専連北九州

理事長　岡本　勝
外組合員・職員一同

〒802-0005　北九州市小倉北区堺町１丁目６番15号
TEL 093-521-7550　FAX 093-521-7551
E-mail:nissenren-kitakyusyu@gaea.ocn.ne.jp
http://www.nsr-kitaq.net

北九州塗装協同組合

理事長　大石浩人
他　組合員一同

〒808-0109　北九州市若松区南二島二丁目17番18号
電話 093-701-2300
FAX 093-791-3997
［URL］ http://www.kita-pc.com
E-mail:k-toso-k@circus.ocn.ne.jp
E-mail:ccg000242686@kaw.bbiq.jp

迎　春

築上郡築上町大字有安一七九番地
電　話　〇九三〇―五六―〇一八三
築上西部液化ガス事業協同組合
理事長　北川靖雄

若松区浜町二丁目三番二十八号
電　話　七六一―二六一二
ＦＡＸ　七六一―二五八三
北九州葬祭業協同組合
理事長　原田健次

中間市中間一丁目六番五号
電　話　二四五―一七八七
ＦＡＸ　二四五―一七八八
中間市建設協同組合
理事長　福山征也

戸畑区天籟寺一丁目六番十七―一号
電　話　八八三―一二八一
ＦＡＸ　八八一―一六九六
西日本産業株式会社
代表取締役　麻生重樹

戸畑区牧山海岸二番二十六号
電　話　八七一―二七三八
ＦＡＸ　八七一―二七三九
協同組合テクノタウン戸畑
理事長　白石春利

戸畑区天神二丁目九番八号
電　話　八八二―八四八八
ＦＡＸ　八八二―八四八九
天神商店街振興組合
理事長　髙木壽則

戸畑区一枝三丁目六番十二号
電　話　八八三―一五五二
清掃美化協同組合
代表理事　橋本耕治

小倉北区紺屋町四番六号
電　話　五三一―三二八八
北九州ビルメンテナンス協同組合
理事長　八木秀旭

当振興会は教育研修・材料試験・機械加工の
３事業で地域中小企業等を支援しております。

公益社団法人 九州機械工業振興会

教育研修
クレーン運転士（国家資格）、玉掛け・床上技能等
非破壊検査技術資格、研修室の開放利用

材料試験
各種鉄鋼、建設材料及びプラスチック等材料試験

機械加工
大型且つ高精度な機器による加工、三次元測定等

〒804－0003
北九州市戸畑区中原新町1番1号（北九州テクノパーク内）
TEL 093－861－3001　http://www.kyukishin.or.jp/
FAX 093－861－3007　e-mail:info@kyukishin.or.jp

迎　春

幸せは、駅の上に。

◆ご宴会　◆お食事
◆ご婚礼　◆ご宿泊

STATION HOTEL KOKURA　ステーションホテル小倉

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-1-1　TEL 093-541-7111(代)

リコー特約販売店　防犯・防災システム構築
スチール家具オフィス用品・各社取扱い

株式会社
オフィスリューションズ北九州

代表取締役　木　下　健　治
（旧社名　株式会社　渡辺商事）

〒804-0054
福岡県北九州市戸畑区牧山新町１番23号
TEL 093-884-2711/FAX 093-884-2755

www.office-sk.co.jp/　検索

公益社団法人　北九州市
シルバー人材センター

高齢者の豊かな知識と経験で、
"お受けします"あなたの仕事を！

- 植木の剪定
- 育児支援
- 草刈り・農作業
- 簡単な大工・左官仕事
- 家事援助（掃除・洗濯・炊事・留守番）
- 宛名書き・賞状書き
- パソコン・事務の仕事
- ビル・マンション・駐車場の管理
- 屋内外の清掃

TEL　922－4801

- ワンコインサービス（対象：65歳以上の高齢者のみの世帯）
100円で10分・500円で30分程度の軽作業

TEL　922－5511

〒802-0062　小倉北区片野新町一丁目１－６

明るい未来、お手伝いします。人材派遣

総合人材サービス
株式会社　ケィ・ビー・エス

代表取締役　安　部　高　子

〒802-0014
北九州市小倉北区砂津１丁目2-13
TEL 093-522-0096
FAX 093-551-2342
URL http://www.kbs.group.co.jp

あなたと共感、ハーモニー・バンク
福岡ひびき信用金庫

チャレンジ25
未来が変わる。日本が変える。
"ひびしん"はチャレンジ25キャンペーンに参加しています。

やっぱりしんきんに　コール
0120-842-506

迎　春

みなさまの明日を
バックアップします。

福岡県信用保証協会　　北九州支所

〒802-0082　北九州市小倉北区古船場町１番35号
北九州市立商工貿易会館
電　話　093-551-2631
ＦＡＸ　093-522-4754
ホームページ　http://www.fukuoka-cgc.or.jp/

FUKUOKA GUARANTEE

“より快適な住まいのご相談は”
ガス機器・リフォーム・住宅設備機器販売

西部ガスリビングメイト
株式会社 総合システム

〒 807-0804　北九州市八幡西区医生ヶ丘３番５号
☎ 093-603-7174

YOSHIMI
KOHSAN CORPORATION

印刷のことならよしみ工産に
お任せ下さい!

企画、制作から印刷までを手がける経験豊富な実績で
お客様に満足をご提供いたします!

■印刷物全般
・報告書の印刷製本
・学術書籍の印刷製本
・パンフレット・ポスター、
　リーフレットのデザイン、印刷
・少部数の印刷製本（オンデマンド印刷）
・封筒、名刺、挨拶状の印刷
・募集要項等の加工や手作業が必要な印刷物
■電子BOOKデータ作成
■サイン事業
・床面広告　・大型タペストリー　・壁面広告　他

総合印刷 よしみ工産株式会社
E-mail : info@e-yoshimi.jp
http://www.e-yoshimi.jp

本　　社	北九州市戸畑区天神1丁目13−5	☎(093)882−1661	FAX(093)881−8467
福岡営業所	福岡市博多区博多駅前1丁目23−28	☎(092)481−9559	FAX(092)481−9966
東京事務所	東京都文京区本郷3丁目26−1	☎(03)5802−5601	FAX(03)5802−5603

迎　春

響工業団地協同組合

代表理事　自　見　榮　祐

〒808-0022　北九州市若松区大字安瀬１番地25

電　話　093-751-4561

ＦＡＸ　093-751-4565

プラネタリウム設備付

社会福祉法人　ELDERS

年長者の里　理事長　芳賀（はが）　晟壽（あきとし）

【本部】〒805-0048 北九州市八幡東区大蔵３丁目 2-1　TEL：093-652-3939

ホームページ URL：http://www.nenchousha.com　FAX：093-652-3999

賛助会員加入のご案内

本連合会では、組織の更なる強化と企業、関係諸団体等に事業の利用機会を提供するため、会員資格の拡大を図っております。

又、FAX通信網及びホームページを構築する等、幅広く情報提供を行い事業の多様化に向け、積極的に取り組んでいるところであります。

つきましては、本連合会の概要と趣旨をご理解のうえ、積極的にご加入戴きますようご案内申し上げます。

記

１加　入　方　法　下記申込書にご記入のうえ切り離し、ご投函下さい。

２負　　担　　金　賛助会員　年額　10,000円

※ご加入後に会費の請求をさせて戴きます。

３事業の利用料　（１）　講習会、研究会等　無料

但し、懇親会等は実費を負担願います。

（２）　FAX通信及びホームページ利用

※事前に事務局にご相談下さい。

郵便はがき

〒802-8790

（受取人）

北九州市小倉北区古船場町一一三五

市立商工貿易会館　七階

一般社団法人 北九州中小企業団体連合会 行

（☎五三二一一〇一一七）

料金受取人払郵便

北九州中央局
承認
4294

差出有効期間
平成27年12月
31日まで
★切手不要

一般社団法人　北九州中小企業団体連合会　概要

1　沿革

昭和29年９月21日　任意団体北九州中小企業団体連合会として発足
昭和43年12月５日　北九州中小企業協同組合連合会として法人化
昭和50年８月22日　社団法人北九州中小企業団体連合会に組織変更
平成25年４月１日　一般社団法人北九州中小企業団体連合会に組織変更
今日に至っている。

事業としては、会員組合の事務代行事業をはじめ、教育情報事業、労働福祉対策に加え、FAX通信網及びホームページを構築し、情報提供を行うなど、地域中小企業の振興育成に多くの実績を挙げている。

2　会員の資格

（１）　正 会 員　北九州市、行橋市、豊前市、中間市、京都郡、築上郡及び遠賀郡に事務所を有する法定中小企業団体～事業協同組合、企業組合、協同組合連合会、商店街振興組合、商工組合及び協業組合

（２）　賛助会員　正会員以外のもの、本連合会の目的に賛同して、本連合会事業を支援、協力する個人又は団体

平成　年　月　日

一般社団法人　北九州中小企業団体連合会
会 長 自 見 榮 祐 殿

住　　所
企業(団体)名
代 表 者 名　㊞

賛助会員加入申込書

1 業 務 内 容
2 資本金（出資金総額）　　万円
3 従 業 員 数　　男性　名、女性　名、合計　名
4 実務担当者名
5 連　絡　先　TEL
FAX
6 郵 便 番 号

迎　春

- ポスター
- チラシ
- パンフレット
- リーフレット
- カタログ
- ダイレクトメール
- 自費出版
- 広報誌
- 機関誌
- 書籍
- 文集
- 詩歌集
- 各種マニュアル
- 会議資料
- 帳簿
- 封筒
- さをり織り
- 製麺（冷凍うどん）

etc.

印刷・さをり織り
コロニー印刷
社会福祉法人　福岡コロニー

本部・工場　〒811-0119　粕屋郡新宮町緑ケ浜一丁目11番1号
TEL.(092)962-0764　FAX.(092)962-0768

南福岡営業所　〒816-0934 大野城市曙町二丁目4-18（福岡県障害者就労支援ホーム あけぼの園）
TEL.(092)501-7405　FAX.(092)501-7425

博多営業所　〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号 中小企業振興センタービル1階
TEL.(092)611-2341　FAX.(092)501-7425

古賀営業所　〒811-3115 古賀市久保1343-3
TEL.(092)944-4422　FAX.(092)944-4071

なのみの里　〒811-3115 古賀市久保1343-3
TEL.(092)944-4308　FAX.(092)944-4309

なのみ工芸　TEL.(092)944-4419　FAX.(092)944-4071

○ 障害者支援施設　福岡コロニー
○ 障害福祉サービス事業所　わーくはうすコロニー
○ 障害者就労継続支援A型事業所　福岡福祉工場
○ 障害者支援施設　福岡県障害者就労支援ホーム あけぼの園
○ 障害福祉サービス事業所　なのみ工芸
○ 障害者支援施設　なのみの里
○ 古賀市障害者生活支援センター　「咲」
○ 障害者就業・生活支援センター　「ちどり」
○ 一体型共同生活介護事業所　ケアホームかづる
○ 相談支援事業所　福岡コロニー

中小企業団体の歌

高原泰助　作詞
飯田信夫　作曲

一
国の礎（いしづえ）　中小企業
精神（こころ）は一つ　団結の
固き盟（ちかい）に　結ばれて
希望に燃（も）ゆる　この組織
ああ組合の　大使命

二
ともに手をとり　足並揃え
励みは楽し　団結の
強き力に　護（まも）られて
荊棘（いばら）の道を　切り開く
ああ組合の　大事業

三
相互扶助こそ　われらの誇り
やがては築く　団結の
高き功（いさお）に　輝きて
栄える店に　工場に
ああ組合の　大理想

中小企業の団結と地域の活性化を目指す

北中連だより　平成26年1月31日発行　2014年新春号　通巻119号

発行人　自見榮祐
編集人　野瀬　勝
発行所　一般社団法人　北九州中小企業団体連合会
Kitakyushu Small & Medium Sized Businesses Organization
〒802-0082　北九州市小倉北区古船場町1-35
北九州市立商工貿易会館７階
Tel.093(531)0127　Fax.093(531)0399
http://www.hokuchu.or.jp/
印刷所　社会福祉法人　福岡コロニー

「貌(ぼう)—78」1978年　　国立関門医療センター蔵